

2024

第3編 生涯学習

I 生涯学習

人々が生涯にわたり、いつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果を適切に活かすことのできる「生涯学習社会」の実現が求められている。また、少子高齢化、核家族化、都市化等の経済社会の変化や人間関係・地域における地縁的なつながりの希薄化等により、家庭や地域の教育力が低下していることが指摘されるとともに、学習意欲の低下や、子どもたちの基本的な生活習慣が身につけていないこと、読書活動の不足、学力や体力、コミュニケーション能力の低下など子どもたちに関わる課題も指摘されている。

このような課題に応えるため、「いつでも・どこでも・誰でも」自由に学習できるよう機会の拡充や情報提供などの施策を実施するとともに、市民の学習活動の拠点施設である市民センター、生涯学習センターにおいて、生涯学習の基盤づくりや生涯学習を通じた人づくり、まちづくりに取り組んでいる。また、家庭や地域の教育力の向上をめざして、多くの保護者が参加できる事業を実施する。特に、早寝・早起き・朝ごはん運動など子どもたちの基本的な生活習慣の向上を目指した取組みを進めている。

1 指導者養成

(1) 生涯学習ボランティア活動推進事業

生涯学習総合センター、市民センター等における市民の生涯学習活動を支援する新規ボランティアの養成と、すでに活動しているボランティアのスキルアップを図る。

(2) 生涯学習推進コーディネーター

市民の多様化・高度化する学習要求に応え、地域の生涯学習を活性化するために、市民センターに配置し、活用する。

コーディネーターは、各市民センターでの生涯学習事業の企画・運営への参画、館報作成などの広報活動等に取り組む。

(3) 地域における女性リーダー育成セミナー

令和4年度まで「北九州市女性リーダー国内研修」として実施していたものを、令和5年度からは参加条件や内容の見直しを実施。地域活動における諸問題についての視野や視点を育み、グループワークを中心とした学び合いを通じて、地域活動の主体者、リーダーとなる女性人材の育成を図る。

(4) 婦人団体委託事業

地域や団体のリーダーとして女性が活動するにあたり、必要な知識の習得や社会参画の促進、団体の情報発信に関する技術の習得を目的とした研修会の運営を委託して実施する。

(5) P T A指導者研修会

昭和46年度から、北九州市P T A協議会と教育委員会が共催で実施しているP T A指導者研修会は、全市の学校教職員と小・中・特別支援学校P T A役員の研修会となっている。P T A協議会に研修委員会を設置して計画的な研修を進めている。

令和2年度・令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止等のため中止したが、令和4年度・令和5年度は通常の形で実施された。

指導者研修会では、小・中・特別支援学校P T A役員による実践発表を通して、各領域においてP T Aが当面する課題について、活発な研究討議を行っている。

(6) 生涯学習指導者育成セミナー

市民一人ひとりが積極的に生涯学習を始め、地域におけるさまざまな課題の解決に向けて、総合的に取り組むために必要な、高度かつ専門的な知識・技術の習得を目的とした人材の育成を行う。

2 学習情報の提供

(1) 生涯学習総合センターだより「まいなび21」

令和5年度まで生涯学習総合センター主催事業や生涯学習関連情報などを掲載した市民向けの生涯学習総合センターだより「まいなび21」を年4回発行していたが、令和6年度から「まいなび21ニュースレター」として月1回発行に変更。内容も市民カレッジ中心に刷新している。

(2) 館報の発行

地域住民に学習や地域に関する情報を提供し、地域住民と市民センターとの連携を図るために、各市民センターにおいて、広報紙「館報」を発行している。令和5年度からは、「北九州市公式LINE」においても配信を開始した。

(3) 生涯学習情報提供システム「まなびネットひまわり」

平成23年度に公開した「人材バンク」システムの内容を充実し、平成26年度に再構築したもの。豊富な知識・経験、優れた見識、技術を持ち、その力を地域社会に役立てたいと考える市民講師やボランティア講師に関する情報提供と登録申請、行政機関や大学・専門学校等が実施する講座やイベント情報等を提供している。また、令和3年度から市民活動団体やボランティア団体の情報提供を開始し、学びと活動の情報を一元的に市民に提供している。

3 生涯学習市民講座 (学習機会と学習環境の整備充実)

(1) 生涯学習市民講座

市民の生涯学習を推進する拠点としての市民センターでは、子どもから大人まで多様な要素をもつ地域のすべての方が、地域課題の解決をめざす講座、社会貢献活動につながる講座、生きがいをめざす講座など、幅広い分野にわたる内容を学び、そこから得た知識や技術等を家庭・地域・団体活動等に活かせるような学習機会の提供を行っている。

なお、平成29年度まで事業として実施してきた、以下の事業についても、引き続き、生涯学習市民講座の中で取り組んでいる。

① 地域デビュー支援事業

団塊世代等の次世代の地域活動を担う人が地域デビューする機会を創出するための講座やワークショップなどの開催。

② 生き生きバリアフリー事業

障害のある子どもや大人、国籍・言語の違う子ども等を地域に受け入れ、一緒に参加できる遊びや講座、さまざまな体験・交流活動などを実施。

③ 地域・子ども交流事業

地域の特色を生かし、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高めることを目的に、家庭・地域・学校等が連携して、世代間交流や体験活動、講座などを実施。

◆ 生涯学習市民講座参加数（令和5年度）

(単位：人)

区 別	参加者数
門 司	10,593
小倉北	14,878
小倉南	12,238
若 松	11,523
八幡東	7,057
八幡西	32,844
戸 畑	7,881
合 計	97,014

◆ 生涯学習市民講座開設状況（令和5年度）

(単位：講座数)

分 類	門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	合 計
I 共生のまちづくり	25	20	17	13	12	46	13	146
II 「学び」を通して地域で活躍できる人材の育成	26	35	51	27	16	30	25	210
III 環境意識の高揚	4	3	7	1	7	4	4	30
IV 男女共同参画の推進	0	2	0	0	0	0	1	3
V 健康づくりの支援	31	24	40	10	28	39	19	191
VI 子ども・青少年の健全育成	34	47	34	25	24	69	24	257
VII 安全・安心のまちづくり	3	4	3	0	3	3	1	17
VIII 人権文化のまちづくり	0	4	0	3	2	2	1	12
IX シビックプライドの醸成	3	4	5	4	2	5	2	25
合 計	126	143	157	83	94	198	90	891

(2) 生活体験通学合宿

小学生が市民センターに一週間程度宿泊し、通学しながら、さまざまな生活体験や異年齢・地域の大人との交流を通じて、子どもの自立を図り、生きる力を育成することを目的とし、平成13年度から実施している。これまで延べ102市民センターで2,184人の子どもの参加があった。

(3) 北九州市民カレッジ事業

生涯学習総合センターでは、市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習機会を提供し、自己実現の促進および「循環型生涯学習社会」を担う人材の育成を図ることを目的として、平成15年度から開設。まちづくりや現代的課題に関する学習、さらに高等教育機関と提携して講座を開催している。

令和5年度

ア 講座数：52講座

イ 受講者数：1,147人

(八幡西生涯学習総合センター分含む)



北九州市民カレッジ

(4) 北九州エンジョイント事業

各区において運営委員会を設置し、市民自らが地域に必要な学習ニーズを取り入れた講座を企画し、実施することで、自主的な学びの場から自己実現や地域・人づくりにつながる「循環型生涯学習社会」を目指している。

また、地域に必要な学習ニーズを取り入れることで、地域への誇りと愛着（シビックプライドの醸成）を図っている。

(5) 放送大学北九州サテライトスペース

放送大学は、インターネットやテレビ・ラジオ放送を利用し、広く大学教育の機会を提供することを目的に、放送大学学園（文部科学省・総務省所管）によって設立された通信制大学である。

本市では放送大学と協力し、平成11年6月、中央図書館内に「北九州サテライトスペース」（福岡学習センターの分館として位置付け）を開設し、平成26年10月、コムシティ3階に移転した。

北九州サテライトスペースでは、専用の視聴学習室が設けられ、放送授業をCD・DVD・インターネットなどで視聴できるほか、これまで福岡学習センターでしか行われていなかった単位認定試験や面接授業も北九州市内で受けることができるようになった。

令和5年度学生数 1学期：学部687人 大学院33人

2学期：学部684人 大学院30人

計：学部1,371人 大学院63人

放送大学北九州サテライトスペース

所在地：八幡西区黒崎三丁目15番3号（コムシティ3階）

電話：645-3201

(6) 文化祭

日常の学習活動の成果を発表し、学習意欲を高め地域の連帯感を醸成することを目的に、市民センターで文化祭を開催している。開催日数は2～3日で、開催時期は10月～11月が最も多く、地域の関係者による実行委員会などを組織し、住民参加の文化祭となっている。

主な内容は、人権コーナーの設置、クラブ等の作品展示（生花・書道・絵画等）、活動の発表（民踊、詩吟等）、バザーなどである。

(7) クラブ

生涯学習市民講座終了後、さらに継続的な学習を希望する人々で作られたクラブや、自主的なサークル活動からスタートしたクラブなど、市民センターでは数多くのクラブが活動している。

令和6年4月現在、市民センターで、4,083のクラブがあり、一般教養、生活実技、趣味、スポーツレクリエーションなど幅広い活動を行っている。

4 家庭・地域・学校パートナーシップ事業

(1) 北九州市子どもを育てる10か条

子どもたちの「生きる力」を育むため、家庭や地域でできる子育て・親育ちのための「子どもを育てる10か条」を平成15年度に制定した。平成17年度から市民を対象とした出前講演を実施し、家庭や地域の教育力向上を目指している。

「子どもを育てる10か条」

- ・朝は明るく笑顔で「おはよう」
- ・家族にも「ありがとう」と「ごめんなさい」
- ・子育ては 誉める・叱る・見守る・抱きしめる
- ・聞く時は 子どもの目を見て 心を聴いて
- ・食事が楽しみな家庭にしよう
- ・大切にしたい 物より体験
- ・まず親が きちんと実行 社会のルール
- ・声かけて 地域の宝 子どもたち
- ・教えよう 平和といのちと助け合い
- ・子どもと夢を語り合おう

(2) 家庭教育支援の充実

家庭の教育力の向上を目指し、子育てのさまざまな課題を解決していくための知識や能力などを修得する場として市立幼稚園、小・中・特別支援学校、私立幼稚園及び保育所で「家庭教育学級」を開設している

また、子育て中の保護者に多い悩みについて、いつでもどこでも、誰でも家庭教育に役立つ情報が得られるようウェブ漫画で紹介する「キタキュー親力アップ漫画」を配信するなど家庭教育を支援している。

令和5年度家庭教育学級開設数

市立幼稚園、小・中・特別支援学校	195学級
私立幼稚園、保育所	50学級
市立保育所	12学級

(3) 子育てネットワークの充実

子育てを行う上で重要な役割を担う家庭教育を支援し、家庭と地域の教育力の一層の活性化を図るため、地域における子育てサポーターの養成、市内の子育てサポーターが一堂に会する交流事業の実施、子育てサポーターに対する指導・助言、保健師やさまざまな団体とのネットワーク化を推進する子育てサポーターリーダーの養成など子育てネットワークの構築を支援している（令和5年度登録者数：子育てサポーター1,549人、うち子育てサポーターリーダー165人）。

5 早寝・早起き・朝ごはん運動の推進

子どもの生活リズムを向上させるため、早寝や早起き、朝の食事に地域ぐるみで取り組むことにより、「家庭・地域の教育力」の向上を目指す。

市内の市立小学校、特別支援学校小学部、保育所、認定こども園、幼稚園の幼児・児童・生徒・保護者に、「早寝・早起き・朝ごはん」に関する資料を周知し、日々の生活習慣を親子で見直してもらうことにより、正しい基本的生活習慣の定着を図っている。

また、3歳児から5歳児の幼児の保護者に対して、子どもたちに小学生になるまでに身につけてもらいたい基本的生活習慣などをまとめた家庭教育リーフレット「きほんのき」を作成している。このリーフレットは、市のホームページに掲載し、保護者への周知を図っている。

6 子どもの読書活動の推進

令和3年3月に「北九州市子ども読書プラン（第4次）」（計画期間：令和3～7年度）を策定し、「すべての子どもが、日々の生活の中ですすんで本を手にとって読み、子ども同士や家族などと楽しく語り合う日常」を目指し、家庭、学校、市立図書館、地域における読書活動の推進、及び、読書活動の普及啓発の推進を実施する。

また、北九州市独自の「北九州市子ども読書の日」には、子ども図書館を中心とした市立図書館で、各館独自の催し物を全市一斉に開催、学校では読書に関する指導や取り組みを行うなど、市民全体で子どもの読書活動を盛り上げる。

7 地域学校協働活動事業

平成21年度から令和元年度まで、地域と学校とが教員らの子どもと向き合う時間の拡充や地域の教育力の活性化を図るために「学校支援地域本部事業」を実施した。

令和2年度からは、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動事業」を実施している。従来の「学校支援地域本部」を基盤とする「地域学校協働本部」を各中学校区に設置し、教育委員会が委嘱する、学校と地域のボランティアとの連絡調整を行う「地域学校協働活動推進員（旧地域コーディネーター）」や、教育活動の支援を行う「スクールヘルパー」を中心に、学校支援活動や学びによるまちづくり、地域活動などの様々な活動を推進する。

8 経済界との連携による学校支援事業

企業が持つ人材や経営のノウハウ等を学校教育に生かすため、地元企業を中心とした「北九州の企業人による小学校応援団」と連携しながら、全小学校を対象に出前授業や児童向けの体験学習を実施している。

また、教職員の研修支援やPTAの活動支援等も行っている。

9 婦人団体活動

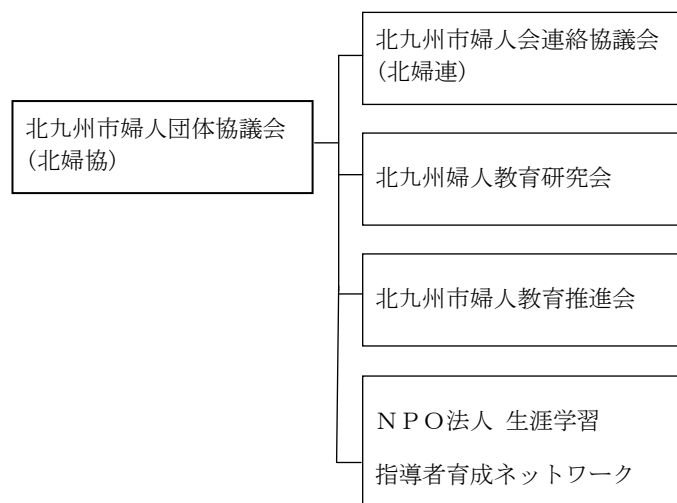
現在、社会教育関係団体としての婦人団体は、次（北九州市の婦人団体一覧）のとおりである。

北九州市婦人団体協議会（北婦協）は、北九州市婦人会連絡協議会など市内の社会教育に関する4団体で組織され、団体相互の連携と婦人教育の向上を目的として、昭和49年4月に結成された。

北九州市婦人会連絡協議会（北婦連）は、会員一人ひとりの福祉の増進と地域社会の発展に寄与することを目的として5つの専門部会（総務・研修・事業・広報・交通安全）を設けて活動の強化に努めている。

地域婦人会以外の婦人団体としては、女性リーダー国内研修生で結成された北九州婦人教育研究会、母の会OBで構成された北九州市婦人教育推進会、生涯学習指導者育成セミナーを修了したメンバーで主に構成されたNPO法人生涯学習指導者育成ネットワークなどがあり、それぞれ特色のある活動を行っている。

北九州市の婦人団体一覧



10 夜間学級

民間団体が行う、義務教育卒業程度の学力を身に付けるための生涯学習事業に対し、支援を行っている。

事業の対象は、家庭の事情や不登校などにより十分に義務教育を受けることができなかった15歳以上の人（留学生は除く）。

学級名	主な活動場所	日程
城南中学校夜間学級	城南中学校（小倉南区）	週5日（月～金） 19:00～21:00
穴生・中学校夜間学級	穴生小学校（八幡西区）	週3日（月・火・木） 19:00～21:00

11 P T A 活動

P T A は、子どもたちのしあわせを願って、よい親、よい教師となるために、互いに力をあわせ「共に学び、実践する」社会教育関係団体である。

本市の P T A は、子どもたちの心身の健全な発達を願い、各種研修会や学年・学級活動などに主体的に参画することを通して、自らが進んで実践する生涯学習として P T A 活動に取り組んでいる。

① P T A の組織状況

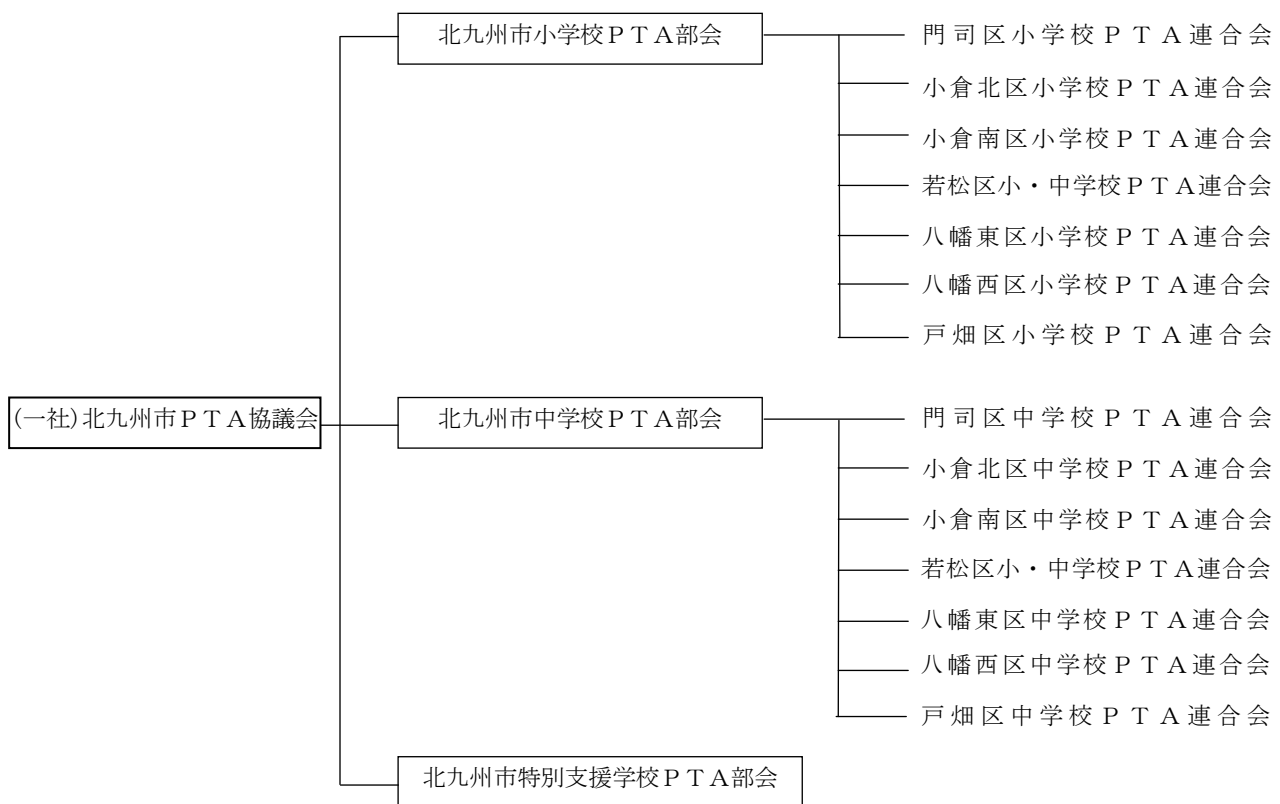
P T A の組織は、小・中・特別支援学校に各学校を単位

とした P T A、各区単位に小学校・中学校 P T A 連合会、市レベルでの北九州市小学校・中学校・特別支援学校 P T A 部会がある。

活動組織として、小学校・中学校・特別支援学校 P T A 部会をもって組織する（一社）北九州市 P T A 協議会がある。

（一社）北九州市 P T A 協議会をはじめとした各組織は、家庭、学校および社会における教育の振興に協力し、P T A の健全な発展と活性化を図るため、広報、保健安全、研修活動などに力を入れている。

（一社）北九州市 P T A 協議会の組織図



12 生涯学習施設

(1) 生涯学習センター

平成15年4月1日、中央公民館廃止に伴い、市民の新たな学習ニーズに対応する人材育成・調査研究・情報受発信・学習相談などの機能を集約・強化した拠点として小倉北区に「生涯学習総合センター」を設置するとともに、学習活動の場としてその他の各区に「生涯学習センター」を設置した。

平成25年4月、コムシティ内に北九州市における「まちづくり人材育成」の拠点施設として「八幡西生涯学習総合センター」を設置した。

同時に、コムシティ内の公共公益施設が連携した複合組織「北九州ひとみらいプレイス」(事務局：八幡西生涯学習総合センター)をオープンした。

「北九州ひとみらいプレイス」は、本市における新たな人材育成の拠点としての役割を担うとともに、副都心黒崎のにぎわい創出に取り組んでおり、令和5年度は延べ87.2万人の利用があった。



生涯学習総合センター



八幡西生涯学習総合センター
(北九州ひとみらいプレイス事務局)
(コムシティ3階)

(2) 市民センター

① 経緯

ア 公民館の設置

昭和21年に文部次官通ちょうにより、戦後の再建の拠点となる地域の社会教育施設として公民館の設置が提唱された。その後、教育基本法(昭和22年)、社会教育法(昭和24年)によって法的整備が図られて以来、公民館は、日常生活圏における住民の身近な学習・交流活動の場として親しまれるとともに、少子・高齢社会にあって、住民自らが課題解決のために主体的にコミュニティ活動や保健福祉活動、地域防災活動に関わるよう支援してきた。

イ 市民福祉センターの設置

北九州市では、少子・高齢社会へ向けて、地域における住民の交流や自主的な活動を活発にし、すべての住民の連帯感に支えられたふれあいのある心豊かな、安心して暮らせる地域社会づくりを目指している。このため、市全体を「地域(小学校区)レベル」「区レベル」「市レベル」の三層に再構築し、市民と行政等が協働して、地域で支え合うネットワークづくりに取り組んでおり、市民福祉センターを住民の生涯学習活動、保健・福祉活動、コミュニティ活動、地域防災活動などの地域のあらゆる活動の拠点として、おおむね小学校区ごとに順次設置してきた。

ウ 公民館の市民福祉センターとの二枚看板化

市民福祉センターができるまでは、中学校区に公民館が設置され、ここを拠点として地域住民による生涯学習やコミュニティ活動などが行なわれてきたが、同一の中学校区に新たに市民福祉センターが設置された場合は、既設の公民館は、従来の中学校区からおおむね小学校区を区域とする二枚看板化公民館に順次移行していくことになった。

エ 公民館から市民センターへ

公民館と市民福祉センターとの二枚看板化については、分かりづらさから名称を一本化してほしいとの意見等が寄せられた。また、市民福祉センターにおける住民活動についても、当初の保健福祉、生涯学習、コミュニティ活動から、子育て支援や地域防災、環境美化、リサイクル活動など、新たな分野へひろがりを見せてきたため、地域住民が親しみを持てる名称への変更が検討された。よって平成17年1月より、社会教育法に基づく社会教育施設としての公民館から市民センターへ名称変更するとともに、幅広い地域活動の拠点施設として位置付けの変更が行なわれることとなった。

② 市民センターにおける生涯学習事業の役割

市民センターでは、多様な学習機会の提供、自発的な学習活動の支援、学習情報の提供、集会の場の提供など、住民の日常生活に最も身近な生涯学習活動を支援している。

(3) 公民館類似施設など

公益法人が設置する公民館や町内会等の地域住民が設置する公民館を公民館類似施設などとしている。

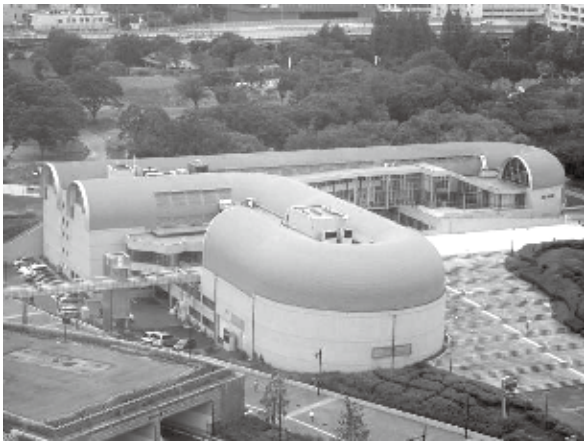
その設置や事業及び運営に対して、地域住民らが社会教育の組織的活動に資することを目的として、予算の範囲内において、設置費補助金、改修費補助金、運営費補助金、エアコン設置費補助金を交付している。

令和5年度末現在、市内183館の公民館類似施設などに運営費補助金を交付している。

(4) 婦人会館

婦人会館は、婦人の文化・教養の向上と婦人団体相互の交流に寄与するために設置されている。婦人問題関係の図書も整備されており、多くの社会教育関係団体や学習グループなどに活用され、研修活動も盛んである。

13 図書館



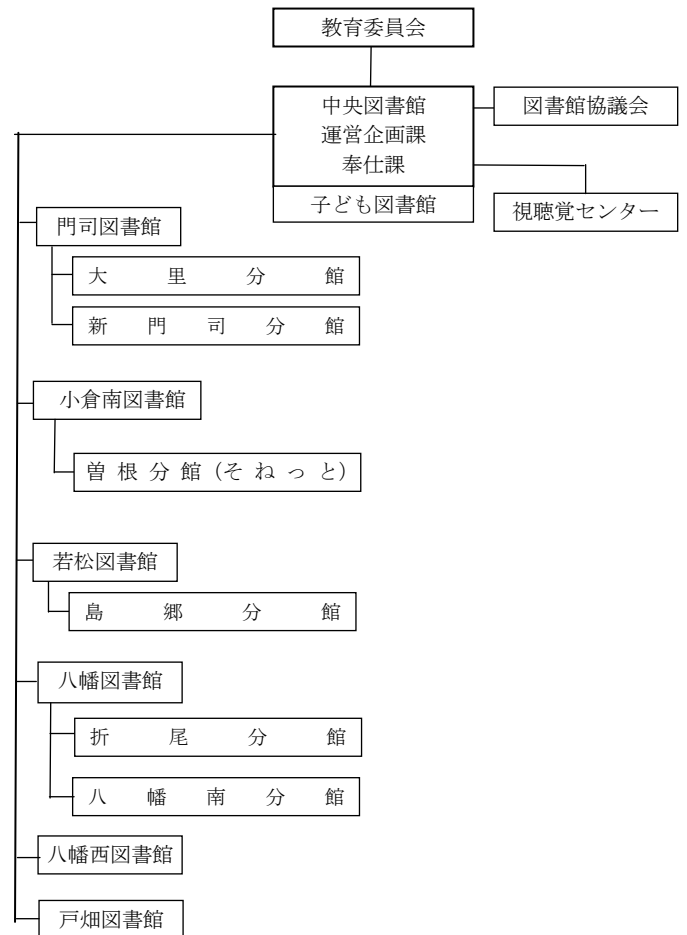
中央図書館

① 図書館の機構

本市には、中央図書館をはじめとして、子ども図書館、地区図書館6館、分館6館があり、これらで本市の図書館網を形成しており、広く市民に利用されている。

貸し出しは、1人10冊以内2週間までである。

図書館の機構（令和6年5月1日）



② ひまわり文庫（貸出文庫）

自動車文庫にかわる貸出文庫として「ひまわり文庫」を平成5年10月に開設した。

現在、市内の市民センターなどの施設内に128カ所設置し、図書の貸し出しを行っている。

③ レファレンスサービス（参考調査事務）

日常生活や仕事の上で必要な調べごとや疑問に対して、資料を提供したり、回答をしたりするもの。口頭、電話及び文書の3つの方法がある。そのため、中央図書館に参考資料室を設置し、専門的な調査事項に対処できるようにしている。

また、その他の市内の図書館でもカウンターでレファレンスサービスを行っている。

④ 複写サービス

平成15年4月から市立図書館全館において、著作権法の範囲内で図書館所蔵の資料に限り1枚につき10円の複写サービスを行っている。

このサービスは、必要な資料及び情報を市民に提供する1つの方法として重要視されている。

⑤ 広域利用及び相互貸借

平成14年4月から福岡県北東部地方拠点都市地域間（苅田町を除く16市町）で、平成15年4月から下関市と図書館などの広域利用を実施している。また、自館にない資料は、市内外の他館との相互貸借により提供している。

⑥ はじめての絵本事業（ブックスタート事業）

・ はじめての絵本事業

早い時期から子どもの読書に関心を持ってもらい、親子でゆったりとしたひと時を過ごしてもらえよう、平成28年10月から、「絵本パック」を無料で配布している。

・ ブックスタート事業

平成15年10月から、本に親しみ、読み聞かせの大切さ、親子のふれあいの大切さを啓発するため、絵本を贈るブックスタート事業を開始した。本事業は「はじめての絵本」事業に移行した。

⑦ 北九州市子ども司書養成講座

平成23年度から、子どもたちが図書館への関心や読書への意欲を一層高めるようにすること、及び学校での読書活動推進のリーダーとして活躍できるようにすることを目的として実施している。

⑧ 子ども図書館

市議会提出議案により平成27年7月に施行された「北九州市子ども読書活動推進条例」に基づき整備され、平成30年12月22日に開館した子ども図書館は、小倉北区内の中央図書館内にあり、ゆったりとくつろげるよう開放的な造りをした、子ども向けの専門図書館である。学校図書館支援センター機能も有するなど、子どもの読書活動の充実を図る拠点としての役割を担っている。

⑨ 北九州市子ども電子図書館の開設

小中学生へのタブレット端末の配布とあわせて、子どもたちの読書機会や学習支援の更なる充実を図るため、令和3年4月、電子書籍の貸出サービス（北九州市子ども電子図書館）を開始（開設）した。

子どもに特化した公共電子図書館としては、全国初の取組みとなる。



■ 子ども電子図書館HPリンク

<https://www.d-library.jp/kitakyushu/g0101/top/>

◆ 蔵書数（令和6年3月31日現在）

（単位：冊）

区分	中央図書館	子ども図書館	門司図書館	小倉南図書館	若松図書館	八幡図書館	八幡西図書館	戸畑図書館	合計
0 総記	22,023	1,329	4,717	3,827	5,029	5,719	4,546	4,539	51,729
1 哲学	20,078	212	5,042	6,706	6,059	6,050	7,486	5,296	56,929
2 歴史	49,352	348	12,241	13,860	15,503	14,282	14,390	11,949	131,925
3 社会科学	72,297	1,471	13,100	19,854	20,161	14,888	24,536	12,918	179,225
4 自然科学	23,095	807	6,712	10,010	10,001	8,982	13,185	6,368	79,160
5 技術	28,042	1,199	10,255	12,284	14,045	14,395	18,134	10,340	108,694
6 産業	13,972	102	3,532	4,701	4,862	3,933	8,270	3,082	42,454
7 芸術	30,131	6,424	10,589	14,850	16,517	13,483	13,550	10,454	115,998
8 言語	7,945	411	1,940	3,031	2,830	2,160	3,797	1,829	23,943
9 文学	111,608	4,321	70,052	66,442	68,370	71,296	52,339	46,585	491,013
K 郷土資料	59,007	540	13,732	4,980	13,596	18,453	6,933	11,070	128,311
児童書	11,631	63,819	73,995	82,141	63,067	74,758	44,727	43,388	457,526
その他	5,978	149	822	443	809	623	370	521	9,715
合計	455,159	81,132	226,729	243,129	240,849	249,022	212,263	168,339	1,876,622

注：門司図書館は、「大里・新門司」、小倉南図書館は、「そねっと」、若松図書館は、「島郷」

八幡図書館は、「折尾・八幡南」の各分館を含む。

◆ 利用状況（令和5年度）

区 分	開館 日数 (日)	登 録 者			貸 出 者 数				貸 出 冊 数			
		一 般 生 (人)	児 童 (人)	合 計 (人)	一 般 生 (人)	児 童 (人)	合 計 (人)	一 日 平均 (人)	一 般 生 (冊)	児 童 (冊)	合 計 (冊)	一 日 平均 (冊)
中央図書館	279	48,192	868	49,060	88,475	2,930	89,405	320	253,070	8,500	261,570	938
子ども図書館	279	2,437	5,224	7,661	15,193	23,361	38,554	138	61,751	118,512	180,263	646
門司図書館	287	6,876	778	7,654	24,877	3,379	28,256	98	90,887	18,707	109,594	382
大里分館	287	7,505	1,024	8,529	36,489	5,102	41,591	145	129,794	27,366	157,160	548
新門司分館	287	1,987	606	2,593	11,934	2,213	14,147	49	45,463	13,094	58,557	204
小倉南図書館	287	19,060	3,308	22,368	109,741	26,516	136,257	475	446,423	152,817	599,240	2,088
曾根分館	287	9,717	928	10,645	30,578	4,609	35,187	123	116,410	26,737	143,147	499
若松図書館	287	12,424	887	13,311	37,419	5,542	42,961	150	137,581	35,634	173,215	604
島郷分館	288	5,527	740	6,267	17,689	3,538	21,227	74	69,276	20,756	90,032	313
八幡図書館	286	13,903	1,423	15,326	48,874	8,974	57,848	202	159,304	47,116	206,420	722
折尾分館	287	5,620	361	5,981	18,030	1,653	19,683	69	51,585	8,801	60,386	210
八幡南分館	287	5,778	761	6,539	19,071	2,829	21,900	76	76,558	17,425	93,983	327
八幡西図書館	287	24,046	4,141	28,187	109,492	17,765	127,257	443	388,713	90,575	479,288	1,670
戸畑図書館	286	16,093	1,994	18,087	86,671	14,855	101,526	355	301,034	75,376	376,410	1,316
合 計	-	179,165	23,043	202,208	652,533	123,266	775,799	2,717	2,327,849	661,416	2,989,265	10,467

注1：児童とは、中学生、小学生、幼児をいう。 注2：登録者数は令和6年3月31日現在。

◆ 視聴覚センター事業

ア 視聴覚教材・機材利用状況（令和5年度）

(ア) 教 材

教 材 種 別	本 数
16ミリフィルム	39
ビデオ	96
D V D	1,311
C D	0
影 絵 そ の 他	28
合 計	1,474

(イ) 機 材

機 材 名	台 数
16ミリ映写機	14
O H P	15
教材提示装置	19
ビデオデッキ	52
DVDプレイヤー	18
プロジェクター	309
スクリーン	90
音響装置	56
そ の 他	49
合 計	622

イ 視聴覚教材保有状況（令和6年4月1日現在）

種 別	本 数
16ミリフィルム	328
ビデオ	1,158
D V D	1,196
C D	79
パソコンソフト	1
影 絵	6
合 計	2,768

14 学校体育施設の開放

地域スポーツの普及及び児童の安全な遊び場の確保のために、学校教育に支障のない範囲で、小学校及び中学校の体育施設を市民に開放する。



学校開放

① 開放の種類

開放の種類	対 象	開放施設	開 放 日	開 放 時 間
スポーツ開放	成人及び勤労 青少年の団体	小学校 または 中学校の 体育館	毎週 月曜日 水曜日 金曜日	午後6時30分から 午後9時まで
		中学校の 運 動 場	4月1日から 10月31日までの 月曜日 水曜日 土曜日 日曜日 休 日 長期休業日	午後6時30分から 午後9時まで 月曜日・水曜日（休日または長期休業日である月曜日・水曜日を除く）は午後7時から 午後9時まで
	成人及び青少年の 団 体	中学校の 武 道 場	毎週 月曜日 水曜日 金曜日	午後6時から 午後8時まで
遊び場開放	校区内の児童	小学校の 運 動 場 または 体 育 館	土曜日 日曜日 休 日 長期休業日	午前9時から 午後5時まで

② 利用方法

- ・事前に各区役所のコミュニティ支援課で団体登録を行う。
- ・団体が使用する場合は、希望する開放校の受付日に直接主任管理指導員に申し込みをして許可を受ける。
- ・遊び場開放で個人利用をする児童は、開放当日、直接管理指導員に氏名、学年を届けて利用する。
- ・夜間運動場の使用は、開放校のある区のコミュニティ支援課に事前登録したうえで、利用日の調整を受ける。

③ スポーツ開放施設使用料

使用する日までに納付券をコンビニで購入し、以下の使用時間に応じた納付券を指定の帳票に貼付することで支払を行う。

学校施設等	使用料
体育館	30分又はその端数ごとに200円
武道場	30分又はその端数ごとに100円
運動場	30分又はその端数ごとに100円
運動場に付属する照明設備	30分又はその端数ごとに800円

◆令和5年度 スポーツ開放実施状況(182校)

区名	学校名	開放開始年度	管理指導者数	開放回数計	年間利用人員	一回平均利用人員	登録団体		
							種目名・数	団体数	登録人数
門司区	東郷中	S53	3	77	1,134	15	バレーボール1、ファミリーバドミントン1	2	36
	〃(運動場)	H6	0	0	0	0		0	0
	〃(武道場)	H15	0	0	0	0		0	0
	早鞆中	S46	5	203	2,084	10	バドミントン2、レクリエーションバレーボール2、ソフトバレーボール1	5	78
	松ヶ江中	H5	3	119	1,056	9	バドミントン1、バレーボール1、ソフトバレーボール1	3	34
	〃(武道場)	H17	3	90	1,074	12	剣道1	1	25
	緑丘中	S59	4	132	1,512	11	バレーボール2、バドミントン1	3	32
	〃(武道場)	H15	0	0	0	0		0	0
	門司中	H9	5	139	1,190	9	バスケットボール1、ソフトバレーボール2、バレーボール1、バドミントン1	5	51
	柳西中	S46	7	140	1,522	11	バレーボール5、バスケットボール1	6	63
	大積小	H4	1	48	690	14	バスケットボール1	1	20
	小森江小	R5	4	98	1,086	11	レクリエーションバレーボール2、バドミントン1	3	23
	白野江小	S63	3	8	68	9	卓球1	1	7
	大里東小	S54	3	105	1,003	10	レクリエーションバレーボール2、バドミントン1	3	20
	大里南小	H3	2	3	22	7	バレーボール1	1	12
	大里柳小	S47	3	26	312	12	バレーボール2	2	26
	田野浦小	S48	4	111	1,309	12	バレーボール1、卓球1、レクリエーションバレーボール1	3	39
	西門司小	S58	6	114	1,228	11	ソフトバレーボール3、バドミントン2	5	58
	萩ヶ丘小	S57	4	132	1,760	13	バレーボール3	3	47
	柄杓田小	S62	0	0	0	0		0	0
	藤松小	S52	3	113	1,390	12	バレーボール2、バドミントン1	3	36
	松ヶ江北小	S58	3	73	758	10	レクリエーションバレーボール1、空手1	2	19
松ヶ江南小	S49	8	79	1,021	13	バレーボール6、空手1	7	75	
港が丘小	H13	4	120	1,147	10	卓球1、バドミントン1、ソフトバレーボール1	3	45	
門司海青小	H7	4	138	1,872	14	卓球1、ソフトバレーボール1、バドミントン1	3	42	
門司中央小	H7	3	70	518	7	バドミントン2	2	25	
	計(22校)		85	2,138	23,756	11		67	813
小倉北区	足立中	S48	6	137	2,217	16	9人制バレーボール3、レクバレー1、バスケット1	5	75
	〃(武道場)	H19	0	0	0	0		0	0
	板櫃中	S46	6	145	2,006	14	バレーボール2、レクバレー2、ママさんバレー1	5	93
	菊陵中	S59	5	131	1,244	9	レクバレー1、バドミントン1、バスケット2	4	59
	〃(武道場)	H15	4	38	331	9	剣道3	3	28
	霧丘中	S52	8	119	1,781	15	レクバレー1、9人制バレー1、バスケットボール2	4	62
	思永中	S45	8	142	1,083	8	レクバレー3、バドミントン1、バスケットボール2	6	56
	〃(運動場)	H元	1	14	301	22	サッカー1	1	24
	篠崎中	S46	5	165	1,981	12	レクバレー1、バレーボール1、バドミントン1、バスケット2	5	56
	白銀中	S52	3	106	1,613	15	バレーボール2、バスケットボール1	3	38
富野中	S49	6	89	856	10	バスケット4、レクバレー1	5	63	

区名	学校名	開放開始年度	管理指導者数	開放回数計	年間利用人員	一回平均利用人員	登録団体		
							種目名・数	団体数	登録人数
小倉北区	南小倉中	S53	4	112	1,754	16	レクバレー1、バスケット2、バレーボール1	4	79
	藍島小	S56					※休校		
	足原小	H2	4	102	1,071	11	バレーボール2、ソフトバレー1	3	32
	足立小	H10	4	90	740	8	ソフトバレー1、バドミントン2	3	27
	泉台小	S63	6	116	1,270	11	レクバレー4、バドミントン1	5	55
	到津小	H4	5	109	1,198	11	レクバレー1、卓球1、バドミントン2	4	68
	井堀小	S61	6	140	1,910	14	レクバレー1、バドミントン1、卓球1	3	43
	今町小	S63	4	82	644	8	バレーボール3	3	31
	貴船小	H元	5	117	1,713	15	レクバレー5	5	67
	清水小	H14	6	223	2,149	10	ラージ卓球1、卓球1、バドミントン2、ディスク1	5	71
	霧丘小	S62	3	128	1,139	9	バドミントン2、卓球1	3	25
	小倉中央小	H3	3	98	1,070	11	バレーボール1、バドミントン2	3	44
	三郎丸小	H8	4	81	683	8	男子9人制バレー1、ママさんバレー1、男女混合バレー1	3	26
	寿山小	S62	4	77	701	9	レクバレー2、ソフトバレー1、バドミントン1	4	43
	中井小	S57	6	163	1,421	9	バドミントン1、レクバレー1、バウンドテニス1、卓球1、バレーボール2	6	77
	中島小	H8	5	134	1,870	14	レクバレー1、バドミントン2	3	48
	日明小	H9	7	130	1,473	11	レクバレー1、ソフトバレー1、バレーボール1	3	45
南丘小	H3	4	66	680	10	レクバレー2、バウンドテニス1、9人制バレー1	4	58	
南小倉小	H5	5	105	1,165	11	男女混合6人制バレー5	5	40	
	計(27校)		137	3,159	36,064	11		110	1,433
小倉南区	企救中	S48	7	129	1,704	13	レクバレー4、ソフトバレー1、バレー1、フットサル1	7	74
	〃(武道場)	R1	5	147	1,151	8	空手1、武道1、古武道2、剣道1	5	40
	〃(運動場)	H3	1	5	100	20	サッカー1	1	20
	広徳中	H15	8	107	1,329	12	ソフトバレー2、バスケット2、バレー1	5	59
	〃(武道場)	H15	3	99	673	7	空手1	1	9
	志徳中	H9	4	86	946	11	レクバレー1、バレー1、バスケット1	3	27
	城南中	S59	4	127	1,205	9	ファミバド1、バウンドテニス1、バスケット1	3	27
	〃(武道場)	H24	3	47	118	3	柔術2	2	15
	菅生中	S53	8	141	1,803	13	レクバレー4、ソフトバレー1、バスケット1、バレー1	7	63
	曾根中	S47	8	139	2,731	20	レクバレー1、バドミントン3、バスケ1、バレー2	7	72
	〃(武道場)	R1	1	48	763	16	合気道1	1	12
	田原中	S63	5	182	3,028	17	レクバレー2、バド1、卓球1	4	77
	〃(武道場)	H15	2	152	2,793	18	柔道1	1	20
	沼中	R4	4	107	1,101	10	レクバレー1、ソフトバレー2	3	32
	〃(武道場)	S50	3	15	61	4	剣道1	1	14
	東谷中	S60	2	15	88	6	バレー1、バドミントン1	2	19
	南曾根中	S54	6	133	1,828	14	レクバレー3、ソフトバレー1、バスケット1	5	40
〃(武道場)	H20	2	135	2,881	21	柔道1	1	32	
守恒中	R3	5	27	225	8	バスケットボール2	2	19	

区名	学校名	開放開始年度	管理指導者数	開放回数計	年間利用人員	一回平均利用人員	登録団体		
							種目名・数	団体数	登録人数
小倉南区	守恒中(武道場)	H27	3	136	3,005	22	剣道1	1	20
	湯川中	S55	5	124	1,738	14	レクバレー2、バドミントン2、ファミバド1	5	68
	〃(武道場)	R5	2	0	0	0	空手1	1	8
	横代中	S52	7	70	1,099	16	レクバレー2、バレー1	3	38
	吉田中	S58	4	97	999	10	バドミントン2、ソフトバレー1	3	46
	〃(武道場)	H28	4	93	2,310	25	空手3	3	60
	市丸小	H15	1	32	375	12	バレー1	1	9
	合馬小	H8	3	120	1,083	9	バドミントン1、バスケット1、ソフトバレー1	3	29
	長行小	S59	5	33	404	12	レクバレー3、ソフトバレー1	4	49
	企救丘小	S51	6	61	772	13	レクバレー3、ソフトバレー2	5	73
	北方小	S62	8	83	786	9	バレー2、ソフトバレー1	3	25
	朽網小	S56	3	88	1,331	15	バレー1、卓球1	2	34
	葛原小	H3	4	89	899	10	レクバレー2、バレー1、バドミントン1	4	31
	広徳小	H6	3	85	1,042	12	バレー2	2	22
	志井小	S61	8	61	907	15	レクバレー1、バレー1・バドミントン4	6	50
	城野小	S54	5	104	606	6	バドミントン3、武道1	4	38
	新道寺小	H7	7	48	528	11	バレー2	2	25
	すがお小	H20	3	88	601	7	バドミントン1、ファミバド1	2	17
	曾根小	H7	4	89	964	11	ソフトバレー1、バドミントン2	3	40
	曾根東小	S60	4	103	1,576	15	ファミバド1、バドミントン1、ソフトバレー1	3	35
	高蔵小	H8	3	127	1,539	12	バレー3	3	32
	田原小	S58	6	81	1,109	14	ソフトバレー2	2	22
	徳力小	S62	0	0	0	0		0	0
	長尾小	S57	5	109	1,352	12	レクバレー1、バドミントン1、ソフトバレー2	4	47
	貫小	S56	4	56	728	13	バレー3	3	34
	沼小	H2	5	84	848	10	バレー1、レクバレー1、バドミントン1	3	29
	東朽網小	S63	4	62	469	8	バドミントン3	3	20
	守恒小	S57	4	57	631	11	レクバレー1、バレー1、ソフトバレー1	3	44
	湯川小	H13	4	116	1,099	9	バドミントン1、ソフトバレー2	3	30
	横代小	H9	4	71	619	9	ソフトバレー1、ファミバド1、バドミントン1	3	31
吉田小	H14	0	0	0	0		0	0	
若園小	S50	4	89	870	10	バド2、フットサル1	3	33	
	計(40校)		213	4,297	54,817	13		151	1,710
若松区	石峯中	S46	4	67	582	9	バレー2、バスケ	3	39
	〃(武道場)	H17	2	20	294	15	剣道	1	15
	向洋中	S45	5	84	650	8	バレー3、バスケ	4	47
	高須中	H4	7	156	1,410	9	バレー3、バスケ2	5	54
	〃(運動場)	H4	2	1	9	9	ソフトボール	1	19
洞北中	S48	5	75	575	8	ファミバド、インディアカ	2	23	

区名	学校名	開放開始年度	管理指導者数	開放回数計	年間利用人員	一回平均利用人員	登録団体		
							種目名・数	団体数	登録人数
若松区	二島中	H12	3	95	1,321	14	バレー、バスケ2	3	48
	若松中	H10	8	197	1,798	9	バレー2、バスケ4、バトミントン	7	79
	〃(武道場)	H29	2	39	154	4	合気道	1	11
	青葉小	H4	4	125	1,009	8	バトミントン2、バスケ、バウンドテニス	4	57
	赤崎小	H元	5	135	1,314	10	バトミントン2、バレー、バウンドテニス	4	41
	江川小	S56	1	46	537	12	バトミントン	1	12
	鴨生田小	H4	2	82	1,290	16	バレー、レクバレー	2	34
	くきのうみ小	R4	5	150	1,465	10	ソフトバレー2、卓球2、バトミントン	5	71
	小石小	H10	3	67	417	6	バレー3	3	20
	高須小	S62	4	84	809	10	バレー、ソフトバレー、バトミントン	3	27
	花房小	S49	2	43	379	9	バレー	1	15
	ひびきの小	H29	4	72	948	13	バレー、バスケ、バトミントン	3	42
	深町小	H2	4	118	923	8	バトミントン2、インディアカ	3	34
	藤木小	H6	4	46	299	7	バレー2、バトミントン	3	33
二島小	S60	5	51	583	11	バレー2	2	20	
若松中央小	H9	5	157	1,483	9	バレー3、バトミントン2	5	46	
	計(19校)		86	1,910	18,249	10		66	787
八幡東区	枝光台中	H13	5	165	1,432	9	バレーボール2、レクバレー2、バスケット1	5	58
	大蔵中	S52	4	99	1,144	12	インディアカ1、バレーボール1、バスケットボール1	3	42
	尾倉中	S54	3	110	1,133	10	レクバレー1、バスケット1	2	35
	〃(武道場)	H30	0	0	0	0		0	0
	中央中	H6	0	0	0	0		0	0
	〃(武道場)	H15	1	97	841	9	剣道1、空手1	2	33
	槻田中	S46	3	117	1,218	10	バレーボール1、バスケット2	3	65
	〃(武道場)	H29	0	0	0	0		0	0
	〃(運動場)	H7	0	0	0	0		0	0
	花尾中	S45	4	159	1,672	11	バドミントン1、インディアカ2、バスケット1	4	63
	祝町小	H元	3	96	557	6	バレーボール3	3	25
	枝光小	S48	3	159	985	6	空手1、バドミントン1、ラージ卓球1	3	26
	大蔵小	S56	4	151	1,405	9	ラージ卓球1、インディアカ1、レクバレー1	3	43
	皿倉小	H11	5	127	1,677	13	バレーボール2、ソフトバレー1、レクバレー1	4	72
	高槻小	H5	3	73	870	12	バレーボール2	2	44
	高見小	S53	6	246	2,714	11	バレーボール3、ソフトバレー1、レクバレー1、卓球2	7	143
槻田小	H2	8	125	1,610	13	バドミントン2、バレーボール1	3	66	
花尾小	S63	4	75	628	8	バドミントン1、レクバレー1、ファミリーバドミントン1	3	38	
ひびきが丘小	H15	4	92	1,071	12	インディアカ1、バドミントン1、バレーボール1	3	46	
八幡小	S53	4	49	366	7	バレーボール1、ソフトバレー2	3	43	
	計(16校)		64	1,940	19,323	10		53	842

区名	学校名	開放開始年度	管理指導者数	開放回数計	年間利用人員	一回平均利用人員	登録団体		
							種目名・数	団体数	登録人数
八幡西区	浅川中	H5	5	90	858	10	レクバレー、バスケ、バドミントン	3	38
	穴生中	S47	11	106	763	7	ソフトバレー、バレー、バドミントン	3	34
	永犬丸中	S52	14	145	1,299	9	バレー、バスケ、杖道、バドミントン	5	53
	沖田中	S46	5	115	1,248	11	レクバレー、バドミントン	5	41
	〃(武道場)	H16	4	139	1,924	14	剣道	1	16
	折尾中	S59	6	140	1,501	11	インディアカ、バレー、バドミントン	3	33
	〃(運動場)	H5	0	0	0	0		0	0
	香月中	H4	0	0	0	0		0	0
	熊西中	H8	12	166	1,777	11	バレー、バドミントン	4	46
	黒崎中	S54	8	197	1,546	8	インディアカ、バレー、バドミントン、レクバレー	5	73
	〃(武道場)	H17	5	92	1,106	12	剣道	1	19
	上津役中	S61	4	82	969	12	バドミントン	2	40
	木屋瀬中	S55	3	60	514	9	ソフトバレー、バスケ	2	18
	千代中	H7	7	44	287	7	バレー、バスケ	3	22
	則松中	S52	3	94	801	9	バドミントン、ソフトバレー	2	17
	引野中	S56	5	211	1,864	9	バレー、バスケ	5	47
	本城中	S54	8	134	893	7	バドミントン、バレー、バスケ	4	39
	八児中	S53	4	133	1,376	10	バドミントン、バレー	3	34
	青山小	H元	4	72	548	8	バレー	3	25
	赤坂小	H15	4	58	443	8	バレー、卓球	3	36
	浅川小	H元	3	135	1,900	14	バドミントン、バレー、卓球	3	34
	穴生小	H6	5	58	830	14	レクバレー、バレー	2	28
	池田小	S50	5	113	1,082	10	レクバレー、バレー、バドミントン	4	35
	医学生丘小	H2	5	134	1,329	10	バレー、バドミントン	3	28
	永犬丸小	S48	4	90	864	10	卓球、バレー	3	40
	永犬丸西小	S49	4	127	1,241	10	卓球、多種目、バレー	3	48
	大原小	H8	6	85	675	8	卓球、バドミントン、バレー	3	36
	折尾東小	S48	7	44	345	8	バレー、インディアカ	2	19
	折尾西小	S62	4	116	1,021	9	バドミントン、ソフトバレー、レクバレー	3	33
	香月小	S60	3	121	1,104	9	ソフトバレー、バレー	3	32
	楠橋小	S53	6	107	1,166	11	バドミントン	3	51
	熊西小	H8	16	83	858	10	バレー、バドミントン	4	47
黒畑小	H23	3	91	926	10	バレー	2	26	
黒崎中央小	H19	4	78	1,037	13	バレー	4	71	
上津役小	S49	6	85	765	9	バレー、バドミントン	6	58	
木屋瀬小	S58	7	109	951	9	ソフトバレー、レクバレー、バレー	3	26	
竹末小	H5	5	98	866	9	バドミントン、ファミバド、バレー	3	41	
千代小	S59	4	96	864	9	バドミントン、バレー、インディアカ	3	41	
塔野小	S57	6	56	651	12	バレー、バドミントン	3	34	

区名	学校名	開放開始年度	管理指導者数	開放回数計	年間利用人員	一回平均利用人員	登録団体		
							種目名・数	団体数	登録人数
八幡西区	中尾小	S61	3	106	972	9	卓球、ソフトバレー、バレー	3	32
	鳴水小	H10	3	118	1,256	11	バレー、レクスボ、バドミントン	3	35
	則松小	H6	4	86	1,054	12	バレー	3	26
	萩原小	H7	6	111	1,499	14	バレー	3	53
	引野小	S60	6	224	2,722	12	バレー、ソフトバレー、ファミバド	6	85
	星ヶ丘小	H14	5	171	1,590	9	ソフトバレー、バレー、バドミントン	3	52
	本城小	H4	6	95	1,120	12	バレー、ソフトバレー、ファミバド	3	48
	光貞小	S63	4	73	540	7	卓球、バドミントン、バレー	3	31
	八児小	H5	5	109	1,044	10	バレー、ソフトバレー、バドミントン	3	38
	八枝小	H7	4	135	1,690	13	バドミントン、剣道、バレー	3	43
	計(46校)		261	5,132	51,679	10		150	1,802
戸畑区	大谷中	S46	5	149	1,307	9	ファミリーバドミントン1、9人制バレー1、レクバレー1、バスケットボール1	4	38
	〃(運動場)	H2	0	0	0	0		0	0
	〃(武道場)	H15	2	80	430	5	少林寺拳法1、剣道1、ブラジリアン柔術1	3	22
	高生中	S62	4	133	1,345	10	バスケットボール3	3	34
	飛幡中	H10	6	141	1,230	9	ファミリーバドミントン1、ソフトバレー1、9人制バレー1、レクバレー2、バスケットボール1	6	55
	中原中	S47	3	77	881	11	バスケットボール2、バレーボール1	3	35
	あやめが丘小	H9	3	119	1,213	10	卓球1、レクバレーボール1、バレーボール1	3	33
	一枝小	H元	3	128	1,628	13	ソフトバレー2、バレーボール1	3	49
	大谷小	H5	4	50	407	8	バレーボール1、バウンドテニス1、バドミントン1	3	25
	鞆ヶ谷小	H12	3	140	1,290	9	バドミントン2、ソフトバレー1	3	41
	天籟寺小	H2	5	104	837	8	バドミントン1、バレーボール2	3	30
	戸畑中央小	H13	6	146	1,179	8	バドミントン1、バレーボール2、ソフトバレー1、レクバレーボール1	5	82
	中原小	H5	3	80	695	9	バドミントン1、バレーボール2	3	42
牧山小	H7	6	206	2,189	11	レクバレーボール2、卓球1、バレーボール1、風船バレー1	5	52	
	計(12校)		53	1,553	14,631	9		47	538
北九州市計(182校)			899	20,129	218,519	11		644	7,925
一校平均			5	111	1,201	11		4	44

◆令和5年度 遊び場開放実施(125校)

区名	学校名	開放開始年度	管理指導員数	開放回数					年間利用人員				登録団体		
				団体		個人(運動場)	合計	団体		個人(運動場)	合計	種目名・数	団体数	登録人数	
				体育館	運動場			体育館	運動場						
門司区	大積小	S51	3	131	1	183	315	1,555	25	417	1,997	バレーボール1・バスケットボール1	2	27	
	小森江小	R5	7	15	84	116	215	165	819	498	1,482	卓球1・ソフトボール1	2	30	
	白野江小	S47	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
	大里東小	S50	12	66	131	146	343	477	2,464	20	2,961	軟式野球2・バレーボール1	3	26	
	大里南小	S48	7	90	176	250	516	1,332	2,831	1,836	5,999	ソフトボール1・バレーボール1・サッカー1・軟式野球1・ドッジビー1	5	92	
	大里柳小	S49	8	0	1	239	240	0	8	43	51	ソフトボール1	1	6	
	田野浦小	S49	4	7	51	118	176	173	1,302	0	1,475	軟式野球1	1	26	
	西門司小	S47	20	137	81	157	375	3,184	1,245	542	4,971	ソフトボール1・サッカー1・バレーボール1・バスケットボール1	4	59	
	萩ヶ丘小	S45	7	127	0	164	291	1,248	0	55	1,303	バレーボール1・バスケットボール1	2	22	
	柄杓田小	S49	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
	藤松小	S50	8	95	125	209	429	1,478	2,236	1,232	4,946	軟式野球1・サッカー1・バレーボール1	3	38	
	松ヶ江北小	S53	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
	松ヶ江南小	S48	15	86	85	156	327	2,343	2,951	1,773	7,067	サッカー1・ソフトボール1・バレーボール1	3	66	
	港が丘小	H13	9	158	74	0	232	2,845	1,915	0	4,760	ソフトボール1・バレーボール1・チアダンス1	3	42	
	門司海青小	H7	20	201	129	0	330	4,307	3,478	0	7,785	ソフトボール1・ミニバスケットボール1・バレーボール1・卓球1	4	46	
門司中央小	H7	6	53	0	46	99	221	0	4	225	卓球1・バドミントン1	2	19		
計(16校)			126	1,166	938	1,784	3,888	19,328	19,274	6,420	45,022		35	499	
小倉北区	藍島小	H16										※休校			
	足原小	S47	9	88	132	137	357	2,297	1,857	204	4,358	軟式野球1・ソフトボール1・ミニバスケット1	3	71	
	足立小	S49	7	102	131	131	364	1,383	2,237	281	3,901	軟式野球1・バドミントン1	2	21	
	泉台小	S49	13	87	75	11	173	900	1,121	0	2,021	ソフトボール1・バレーボール1・レクリエーション1	3	223	
	到津小	S49	4	1	32	30	63	9	355	55	419	ソフトボール1	1	12	
	井堀小	S46	5	222	0	194	416	3,621	0	347	3,968	バレーボール1・バドミントン1	2	29	
	今町小	S57	3	40	30	0	70	364	178	0	542	空手1・ソフトボール1	2	8	
	貴船小	S48	7	50	58	218	326	985	993	2,729	4,707	ソフトボール1・バレーボール1	2	16	
	清水小	S52	10	213	62	28	303	3,314	2,468	1	5,783	軟式野球1・バドミントン1・バスケット2・バレーボール1	5	75	
	霧丘小	S43	2	0	120	120	240	0	2,223	293	2,516	軟式野球1	1	19	
	小倉中央小	H3	6	76	34	121	231	3,448	630	259	4,337	剣道1・バスケット1・軟式野球1	3	84	
	桜丘小	S48	8	125	0	0	125	1,899	0	0	1,899	バレーボール1・バスケット1・バドミントン1	3	37	
	三郎丸小	S45	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
	寿山小	S48	15	110	92	6	208	1,357	2,429	14	3,800	サッカー1・バドミントン1・軟式野球1・バスケット1・全種目1	5	142	
	富野小	S45	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
中井小	S40	9	86	166	0	252	1,352	3,251	0	4,603	ソフトボール1・サッカー1・軟式野球1・バレーボール1	4	102		
中島小	S40	7	11	144	243	398	170	2,291	863	3,324	軟式野球1	1	9		
西小倉小	S49	9	78	115	193	386	990	1,343	459	2,792	ソフトボール1・バレーボール1	2	24		

区名	学校名	開放開始年度	管理指導員数	開放回数				年間利用人員				登録団体		
				団体		個人(運動場)	合計	団体		個人(運動場)	合計	種目名・数	団体数	登録人数
				体育館	運動場			体育館	運動場					
小倉北区	日明小	S49	11	142	110	232	484	1,754	1,572	15	3,341	ソフトボール1・バレーボール1・サッカー1	3	50
	南丘小	S54	11	182	156	179	517	2,935	2,499	844	6,278	軟式野球1、ミニバスケ1	2	31
	南小倉小	S46	5	215	31	66	312	2,130	446	123	2,699	ソフトボール1・バレーボール1	2	11
	計(21校)		141	1,828	1,488	1,909	5,225	28,908	25,893	6,487	61,288		46	964
小倉南区	市丸小	S48	10	72	0	0	72	573	0	0	573	新体操	1	10
	長行小	S46	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	企救丘小	S49	23	108	122	224	454	2,229	2,432	144	4,805	バレー1・ソフト2・多種8・フットサル1	12	231
	北方小	S47	4	42	0	220	262	808	0	66	874	バスケ1	1	20
	朽網小	S49	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	葛原小	S49	7	195	56	78	329	3,429	2,172	0	5,601	バレー2・軟式野球1・サッカー1	4	92
	広徳小	S61	5	252	142	250	644	3,595	2,562	0	6,157	バスケ1・多種1	2	145
	志井小	S53	10	174	138	227	539	2,504	1,529	317	4,350	バレー1・ソフト1	2	24
	城野小	S48	6	0	98	9	107	0	848	37	885	軟式野球1	1	13
	新道寺小	S47	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	すがお小	H20	3	41	1	0	42	883	59	0	942	多種1・バスケ1	2	78
	曾根小	S47	11	101	0	185	286	1,738	0	804	2,542	バレー1・多種5	6	83
	曾根東小	S53	6	50	104	20	174	1,552	1,399	316	3,267	ソフト1・空手1	2	64
	高蔵小	H元	3	73	11	11	95	2,006	197	34	2,237	軟式野球1・ドッジボール1	2	40
	田原小	S55	14	206	182	233	621	3,842	7,090	337	11,269	ソフト2・バレー1・ダンス1・多種2・ドッジビー1.	7	137
	徳力小	S49	8	97	32	108	237	1,041	603	53	1,697	サッカー1・軟式野球1・バスケ1・バレー1	4	60
	長尾小	S57	9	125	120	141	386	2,389	1,616	67	4,072	軟式野球1・ドッジボール1・バレー1	3	40
	貫小	S48	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	沼小	S54	5	86	177	182	445	2,427	3,855	772	7,054	バレー1・多種1	2	34
	東朽網小	S58	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
守恒小	S52	34	95	127	148	370	1,372	2,419	147	3,938	バレー1・軟式野球1・バスケ1・多種9	12	458	
湯川小	S59	11	166	23	146	335	2,876	515	962	4,353	ダンス1・多種2・ドッジビー1・ソフト1	5	95	
横代小	S53	11	64	171	176	411	991	1,925	24	2,940	ソフト1・剣道1・空手1	3	51	
吉田小	S61	5	41	2	50	93	581	40	0	621	多種1・バスケ1	2	41	
若園小	S47	5	51	140	169	360	380	2,945	1,176	4,501	ソフト2・和太鼓1・バドミントン1	4	81	
計(25校)		190	2,039	1,646	2,577	6,262	35,216	32,206	5,256	72,678		77	1,797	
若松区	青葉小	H4	9	128	111	141	380	5,195	2,986	54	8,235	軟式野球、ミニバスケ、サッカー	3	77
	赤崎小	S54	3	33	0	17	50	1,087	0	0	1,087	バレー1、バスケ1	2	28
	江川小	H11	1	98	0	0	98	1,003	0	0	1,003	バレー1	1	13
	鴨生田小	H2	9	93	230	0	323	1,131	6,989	0	8,120	ソフトボール1、バレー	2	35
	くきのうみ小	R4	4	67	0	58	125	1,191	0	0	1,191	バレー2	2	31
	小石小	S43	6	73	182	215	470	903	2,380	885	4,168	ソフトボール1、バスケ1、サッカー1	3	40

区名	学校名	開放開始年度	管理指導員数	開放回数				年間利用人員				登録団体		
				団体		個人(運動場)	合計	団体		個人(運動場)	合計	種目名・数	団体数	登録人数
				体育館	運動場			体育館	運動場					
若松区	高須小	S62	4	75	40	99	214	1,686	864	924	3,474	ミニバスケ、サッカー	2	54
	花房小	S48	5	87	135	0	222	1,812	3,311	0	5,123	軟式野球、バレー	2	81
	ひびきの小	H29	6	77	13	0	90	2,356	325	0	2,681	軟式野球、バスケ2、サッカー、剣道	5	115
	深町小	S47	6	180	131	196	507	4,719	1,898	503	7,120	ソフトボール、バレー、サッカー、バントワリング	4	50
	藤木小	S50	6	23	39	180	242	158	459	0	617	サッカー、フットサル	2	20
	二島小	S48	8	1	1	62	64	30	30	35	95	サッカー、剣道	2	35
	若松中央小	H9	3	91	151	151	393	5,380	6,002	0	11,382	ソフトボール、バスケ	2	73
	計(13校)		70	1,026	1,033	1,119	3,178	26,651	25,244	2,401	54,296		32	652
八幡東区	祝町小	S49	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	枝光小	S56	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	大蔵小	S55	3	6	55	0	61	46	1,075	0	1,121	バドミントン1・ソフトボール1	2	36
	皿倉小	H7	2	110	59	0	169	2,027	1,386	0	3,413	バレー1・サッカー1	2	53
	高槻小	S48	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	高見小	S52	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	槻田小	S45	4	91	66	0	157	1,370	1,827	0	3,197	バドミントン1・空手1・剣道1・ソフトボール1	4	81
	花尾小	H16	5	34	31	0	65	407	314	0	721	剣道1・ソフトボール1・サッカー1・バスケ1	4	50
	ひびきが丘小	H15	2	0	43	0	43	0	1,188	0	1,188	軟式野球1	1	31
八幡小	H12	1	51	0	0	51	1,020	0	0	1,020	バスケットボール1	1	20	
計(10校)		17	292	254	0	546	4,870	5,790	0	10,660		14	271	
八幡西区	青山小	S53	7	3	57	21	81	50	1,186	61	1,297	サッカー、野球	2	37
	赤坂小	S59	7	126	0	0	126	1,240	0	0	1,240	ミニバスケ	1	14
	浅川小	S49	2	96	35	0	131	4,873	770	0	5,643	サッカー、ミニバスケ	2	49
	穴生小	S47	14	11	130	127	268	358	5,204	20	5,582	野球、多様目	2	41
	池田小	S62	10	47	110	0	157	468	1,947	0	2,415	バレーボール、野球	2	25
	医学生小	S54	4	117	0	43	160	1,125	0	9	1,134	ミニバスケ	2	28
	永犬丸小	S53	5	119	140	159	418	2,462	3,732	442	6,636	ミニバスケ、ソフトボール	2	56
	永犬丸西小	S49	14	64	133	133	330	1,639	2,952	4	4,595	ソフトボール、バレーボール	2	41
	大原小	S55	6	116	0	99	215	3,287	0	0	3,287	バレーボール	1	10
	折尾西小	S61	4	229	14	0	243	1,277	203	0	1,480	サッカー、一輪車、バドミントン	3	36
	折尾東小	S46	6	74	29	0	103	686	917	0	1,603	サッカー、一輪車、剣道	3	48
	香月小	S41	5	1	126	0	127	70	9,632	0	9,702	サッカー	1	56
	楠橋小	S49	12	74	50	0	124	1,677	3,451	0	5,128	エアロビクス、サッカー	2	32
熊西小	S49	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	
黒畑小	S56	20	158	122	72	352	3,207	1,467	378	5,052	ソフトボール、多様目、ミニバスケ、陸上	4	64	
黒崎中央小	S40	15	113	133	0	246	1,753	1,671	0	3,424	多様目、ソフトボール、ミニバスケ、サッカー、バレーボール	6	248	
上津役小	S56	9	113	57	3	173	2,267	2,265	41	4,573	サッカー、ソフトボール、ミニバスケ	3	79	

区名	学校名	開放開始年度	管理指導員数	開放回数				年間利用人員				登録団体		
				団体		個人(運動場)	合計	団体		個人(運動場)	合計	種目名・数	団体数	登録人数
				体育館	運動場			体育館	運動場					
八幡西区	木屋瀬小	S49	19	13	143	144	300	258	2,807	250	3,315	野球	1	24
	竹末小	S46	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	千代小	S60	9	87	48	48	183	1,195	1,460	96	2,751	バレーボール、サッカー、野球	3	40
	筒井小	S49	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	塔野小	S48	5	1	111	122	234	10	1,537	367	1,914	ソフトボール	1	22
	中尾小	S52	8	95	111	0	206	1,724	1,669	0	3,393	ソフトボール、ミニバスケ	2	47
	鳴水小	S51	1	0	67	0	67	0	2,889	0	2,889	サッカー	1	45
	則松小	S54	4	68	81	0	149	1,008	1,472	0	2,480	野球、ダンス	2	22
	萩原小	S47	5	48	0	0	48	902	0	0	902	ミニバスケ、多種目	2	18
	引野小	S48	6	153	10	7	170	1,272	142	6	1,420	ダンス、剣道、ソフトボール	3	23
	星ヶ丘小	H14	3	44	16	0	60	845	326	0	1,171	サッカー、ミニバスケ、バレーボール	3	54
	本城小	S52	3	21	16	7	44	189	530	218	937	サッカー、バレーボール、ミニバスケ	3	45
光貞小	S60	4	4	75	6	85	117	5,707	33	5,857	サッカー、野球	2	49	
八児小	S50	6	174	0	0	174	2,450	231	0	2,681	剣道、ミニバスケ	3	36	
八枝小	S63	17	162	92	0	254	3,700	1,164	0	4,864	剣道、ソフトボール、フットボール、バレーボール、ミニバスケ、野球	6	84	
計(32校)			230	2,331	1,906	991	5,228	40,109	55,331	1,925	97,365		70	1,373
戸畑区	あやめが丘小	H9	5	0	174	216	390	0	3,036	52	3,088	ソフトボール1、サッカー1	2	35
	一枝小	S47	5	103	92	90	285	965	815	221	2,001	ソフトボール1、バレーボール1	2	21
	大谷小	S47	14	110	125	158	393	1,431	1,056	413	2,900	ソフトボール1、バレーボール1	2	30
	鞘ヶ谷小	S49	7	115	120	149	384	1,557	690	69	2,316	ソフトボール1、バレーボール1	2	24
	天籟寺小	S45	4	0	0	67	67	0	0	65	65		0	0
	戸畑中央小	H13	12	152	137	167	456	2,002	4,209	1,063	7,274	ソフトボール1、バレーボール1、バスケットボール1	3	49
	中原小	S59	9	0	139	139	278	3,663	0	327	3,990	軟式野球1、サッカー1	2	34
	牧山小	S46	8	0	197	220	417	0	3,760	7	3,767	ソフトボール1	1	20
計(8校)			64	480	984	1,206	2,670	9,618	13,566	2,217	25,401		14	213
北九州市計(125校)			838	9,162	8,249	9,586	26,997	164,700	177,304	24,706	366,710		288	5,769
一校平均			7	73	66	77	216	1,318	1,418	198	2,934		2	46

Ⅱ 文化財及び文化施設

文化財は、わが国の歴史と風土の中で培われてきた貴重な国民的財産であり、文化の向上発展の基礎をなすものであって、その保護、保存、活用を適切に行うために、きめの細かな施策が必要である。

このため、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、郷土愛を育むために地域文化を保存・継承していくことを目的に事業を実施する。

また、文化施設の整備・充実を図ることにより、優れた文化・学術に接する機会の提供及び普及に努める。

1 文化財

文化財の指定・登録や国指定天然記念物平尾台の保存のための土地購入など文化財保護啓発に努めている。

埋蔵文化財については関係機関の協力を得て、公共事業及び民間開発に伴う発掘調査及び記録保存を行っている。

(1) 指定・選択・登録文化財種別件数

(令和6年5月1日現在)

種別	国指定文化財(件)	県指定文化財(件)	市指定文化財(件)	合計(件)
有形文化財				
建造物	6	4	8	18
絵画	0	5	2	7
彫刻	0	4	6	10
工芸品	0	8	7	15
書跡・典籍・古文書	0	1	10	11
考古資料	1	2	15	18
歴史資料	1	0	0	1
有形民俗文化財	0	10	7	17
無形民俗文化財	3	6	13	22
史跡	0	7	13	20
天然記念物	3	6	0	9
合計	14	53	81	148

種別	国登録文化財(件)		合計(件)
建造物	30		30

種別	国選択文化財(件)		合計(件)
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	1		1

令和5年度は、福岡県文化財2件、北九州市文化財1件の新規指定及び、国登録文化財3件の新規登録、1件の抹消について告示・公示がなされ、市内の文化財件数・種別は上記の通りとなった。

① 福岡県指定文化財 <高見神社>



- ア 文化財の区分 有形文化財（建造物）
 イ 指定年月日 令和6年3月29日
 ウ 名称 高見神社 1件（13棟2基）
 エ 所在地 北九州市八幡東区高見一丁目1番1号
 オ 概要 昭和9年（1934）年に造営された八幡製鐵所の鎮守社。元々は洞海湾の高見山に皇祖神十二柱を祀ったのが創始とされる。明治30年（1897）2月に官営製鐵所の建設地が遠賀郡八幡村に決定し、高見神社が鎮座する高見山は工場用地の一部となり、明治31年に近隣の豊山八幡神社境内に遷座された。昭和9年（1934）1月の日本製鐵株式会社の創設等を契機に、八幡製鐵所の鎮守社として高見神社を建立する機運が高まり、現在地に遷座した。
- カ 指定の理由 建築当時、全国の官国幣社の神社行政を主導する神社建築の第一人者らが関与し、社殿は良質な台湾檜を用いた素木造で、祭祀のしやすさや多数参拝を考慮した機能的な造りで、内務省神社局による近代の神社建築の特徴を示す。また、丘陵地の地形を活かした巧みな配置や変化に富んだ屋根の構成など、大規模な社殿群を優れた意匠でまとめており、壮麗な社頭景観を形成している。これら一連の社殿群が良好な状態で現存しており、県内における昭和前期の神社建築を代表する貴重な文化財である。

<堀川>



- ア 文化財の区分 記念物（史跡）
 イ 指定年月日 令和6年3月29日
 ウ 名称 堀川
 エ 所在地 福岡県北九州市八幡西区大膳二丁目水路の一部、遠賀郡水巻町吉田6000番のうち一部、2086番1号のうち一部

オ 概要 堀川は、江戸時代に掘削された全長約12Kmにわたる運河である。工事は黒田長政の命により、元和7(1621)年開始され、途中中断を挟んで文化元(1804)年、寿命の唐戸が完成し、洞海湾までの開通をみた。

カ 指定の理由 今回、追加指定となった吉田・大膳間切貫は宝暦元～9年(1751～59)に開削した切貫部分で、全長約456m幅約6mに渡り、最大14mの高さの岩を削り出して造られている。岩盤にはノミ痕などの工具痕が残り、当時の大規模な土木工事のようすを知る上で稀有な文化財である。

② 北九州市指定文化財
 <有毛太郎坊山遺跡経塚出土品>



ア 文化財の区分 有形文化財(考古資料)

イ 指定年月日 令和5年12月15日

ウ 名称 有毛太郎坊山遺跡経塚出土品一括

エ 所在地 北九州市八幡東区東田二丁目4番1号
 北九州市立自然史・歴史博物館

オ 概要 有毛太郎坊山遺跡は、若松区大字有毛に所在する。昭和61年、平成6年に発掘調査が実施され、平安時代から鎌倉時代に比定される中世墓や経塚などが確認された。今回指定の対象となった経塚出土品は2基の経塚から出土したものである。

カ 指定の理由 市内から発見された経筒は9点が知られるが、伝世品などが多く、埋納時の状態は不明である。有毛太郎坊山遺跡から出土した経筒は、考古学的な発掘調査を経て出土し、共伴遺物や遺構の形状が詳らかなものは本例のみであり、高い学術的価値を有する。また、青白磁合子をはじめとする共伴資料についても、経筒と同時代性の高い資料として考古学上重要であるため、併せて指定するもの。

③ 国登録文化財
 <八名家住宅(旧庄野家住宅)>



ア 文化財の区分 有形文化財(建造物)

イ 登録年月日 令和6年3月6日

ウ 名称 八名家住宅(旧庄野家住宅)2件(主屋1棟、離れ1棟)

エ 所在地 北九州市門司区柳町3丁目16-10他

オ 概要 門司駅から約500m東方、戸ノ上山中腹の住宅街である門司区柳町内に位置する。現所有者の父であり、海軍少佐であった庄野平左衛門氏が退役、帰郷後の大正12(1923)年頃に建設した和洋折衷住宅。主屋は木造平屋建葺瓦葺で、中廊下を南北に通して東に洋室の応接室と床構え付き座敷、西に居間と台所を配した和洋折衷住宅。洋室の外壁は下見板張で内部は蛇腹付の漆喰天井に中心飾を備えた本格的なもの。

カ 登録の理由 主屋の東に南面して建つ離れは、木造平屋建入母屋造葺瓦葺で四周に下屋を付し、西端で主屋と接続する。内部は二間続きの座敷で、東室を床構え付き座敷とし、南に縁を通す。床廻りは材料吟味し、繊細な組子を用いた欄間や付書院など洗練された離れ座敷となっている。

■登録基準 造形の規範となっているもの

<河野家住宅(旧池本家住宅)>



ア 文化財の区分 有形文化財(建造物)

イ 登録年月日 令和6年3月6日

ウ 名称 河野家住宅(旧池本家住宅)主屋

エ 所在地 北九州市八幡東区猪倉町66番地

オ 概要 槻田川上流の農村集落の最上部付近に建つ木造平屋建、寄棟造茅葺(鉄板仮葺)の旧農家住宅主屋。少なくとも明治時代前期には建築されていたことが確認され、地域でも最古級の歴史を有する民家。

カ 登録の理由 三本溝の敷鴨居や簀子天井など古式を残す。大きな茅葺屋根が地域の歴史的景観をつくる。

■登録基準 国土の歴史的景観に寄与しているもの

(2) 保存事業

- ① 平尾台の土地購入
 国指定天然記念物平尾台保存のため、令和5年度は指定地域内の購入予定地の測量を実施。
- ② 文化財パトロール
 埋蔵文化財をはじめ指定文化財や文化財説明板などの保存状況のパトロール(6人、隔月1回)を実施。
- ③ 指定文化財などの草刈・清掃
 指定文化財等の環境保全のため草刈り清掃などを実施。

(3) 調査事業

- ① 埋蔵文化財発掘調査
7 遺跡を発掘調査

遺跡名	所在地	発掘面積 (㎡)	発掘期間	開発内容	時代	成果
石田遺跡第7地点	小倉南区上石田三丁目 1215-1、1216-1、1217-1、1218-1	1868.34 ㎡	令和5年4月3日 ~5月31日	宅地造成	弥生時代~ 古墳時代	本遺跡は上石田三丁目に広がる沖積平野に所在する。調査区から、竪穴住居や土坑、溝状遺構などが確認され、弥生時代終末期から古墳時代前期の土器や石器、木製品などが出土した。
道屋敷遺跡第6地点	小倉南区中吉田五丁目 1500-6	131 ㎡	令和5年5月22日 ~6月2日	個人住宅	縄文時代~ 中世	本遺跡は企救半島の丘陵から派生する標高約14mの低丘陵上に位置する。調査区からは、中世の居館の堀とみられる溝状遺構を確認し、その中から大量の土師器が出土している。
高野遺跡第5地点	小倉南区高野三丁目 1190、1191 他	608.55 ㎡	令和5年6月1日 ~6月21日	宅地造成	弥生時代	本遺跡は高野三丁目に位置する。調査区からは、円形の竪穴住居や掘立柱建物、貯蔵穴などを確認した。貯蔵穴からは弥生時代前期の土器が出土し、竪穴住居と同時期に使用された可能性がある。
水町遺跡第6地点	小倉南区湯川新町一丁目 284-1、20、21	105 ㎡	令和5年7月26日 ~8月18日	個人住宅	縄文時代~ 中世	本遺跡は安部山の南側に広がる丘陵裾部に位置し、標高は12.5m~13mである。調査区からは、弥生時代の箱式石棺、石蓋土墳墓、貯蔵穴が確認された。
貫・裏ノ谷遺跡第2地点2区・3区	小倉南区大字貫	902.45 ㎡	令和5年8月21日 ~11月30日	道路改築事業	弥生時代・ 平安時代~ 近世	本遺跡は貫山から派生する丘陵先端部に位置し、標高は21mである。調査区からは、近世墓とみられる土坑群を確認し、六道銭と考えられる寛永通宝や近世の陶磁器などが出土した。
旧門司駅舎跡	門司区清滝二丁目地内	900 ㎡	令和5年9月4日 ~12月22日	公共施設建設	古墳~ 近世・近代	本遺跡は企救山地に属する風師山・三角山の丘陵端部で、旧海岸線部分に位置する。調査区からは、明治24年の門司駅開業時に関連すると考えられる機関車庫跡、倉庫跡や水道管、石垣などが確認されている。
魚町遺跡第3地点1区・2区	小倉北区魚町4丁目	1,500 ㎡	令和5年9月7日 ~9月29日、 令和5年12月4日 ~令和6年2月29日	区画整理事業	近世	本遺跡は、小倉藩土屋敷絵図によると小倉城下町の東曲輪に位置する。調査区からは、神嶽川の旧護岸とみられる野面積みの石垣や、町屋跡に関する井戸、埋甕、礎石などが確認されている。

(4) 記録作成事業

発掘調査の記録を残すための調査報告書などを10冊刊行
記録の刊行（市：北九州市の略）

ア 宮ノ谷遺跡

(市文化財調査報告書第175集)

イ 長野A遺跡XI区

(#176集)

ウ 宮ノ谷石棺群第2地点

(市埋蔵文化財調査報告書第624集)

エ 畠山遺跡M地点

(#625集)

オ 紅梅(A)遺跡

(#626集)

カ 八旗神社古墳群第3地点

(#627集)

キ 能行遺跡第5地点

(#628集)

ク 紺屋町遺跡第2地点

(#629集)

ケ 末里遺跡

(#630集)

コ 貫・裏ノ谷遺跡第2地点

(#631集)

(5) 補助事業

次の事業に補助金を交付している。

- ① 県費補助事業
重要文化財旧松本家住宅防災設備保守点検等
沼楽保存修理（用具修理）事業

- ② 市費補助事業
小倉祇園太鼓、沼楽、木屋瀬盆踊、大山祇神社のイチョウ、黒崎祇園行事、楠原踊、大積神楽、戸畑祇園大山笠行事、野面の盆踊、前田の盆踊、藍島の盆踊、前田祇園山笠行事、曾根の神幸行事（開作神事）、小倉祇園 平松の神輿、能行の盆踊り、天籟寺の盆踊

(6) 文化財の普及活動

- ① 指定文化財公開施設
県指定文化財立場茶屋銀杏屋など保存修復工事を終えた指定文化財の公開を行っている。施設の公開にあたっては地域住民によるまちづくり団体や文化団体等に日常の管理を委託するなどして、来館者への説明、対応にあっている。

ア 有人での公開施設

立場茶屋銀杏屋、森鷗外旧居、火野葦平旧居「河伯洞」、旧高崎家住宅（伊馬春部生家）

イ 無人での公開施設

東田第一高炉跡（施設の一部に危険箇所があるため、一時的に公開を中止している）、菜園場窯跡

ウ 事前申込による公開施設

日明一本松塚古墳

- ② 文化財出前教室

小学校において、文化財や地域の歴史への関心を高め、郷土愛を育むため、学芸員を派遣し、文化財出前教室を実施。

市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した遺物を活用して、本物の土器や石器に直接ふれる場を設けている。

- ③ 埋蔵文化財速報展などの実施

埋蔵文化財センターにおいて常設展示を行うとともに、山王遺跡などの発掘調査に伴う速報展を開催している（令和5年度実施回数3回）。また、3月には令和5年度北九州市遺跡発掘報告会「第18回発掘レポート最前線！」を開催し、令和5年度に発掘調査を行った市内遺跡から2つの事例の発掘調査の成果を発表した（参加者78名）。

- ④ 子ども考古学講座「君も考古学者だ！」

埋蔵文化財センターにおいて小中学生を対象に発掘調査を体験したり、勾玉、鏡、耳飾りなどを作ったりして、古代人の知恵や工夫、考古学のおもしろさを体験する講座を行っている。令和5年度は夏休みに合わせて勾玉作り体験を実施した。

- ⑤ 市民考古学講座

市内で発掘調査を行った遺跡の調査成果や出土遺物を通

して、北九州の歴史と文化への理解を深めるため、一般市民を対象に考古学講座を行っている。令和5年度は旧門司駅舎跡の発掘調査成果の講座を実施した。

- ⑥ 文化財防火デー

文化財防火デー行事を消防局、各区消防署、文化財所有者・管理者、自衛消防隊などと協力して毎年1月26日を中心に実施。行事としては、広報活動のほか、市内の主な文化財の消防査察、消防演習を行っている。

- ⑦ 日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」普及啓発

ア 概要

(ア) タイトル

関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～

(イ) 認定団体

関門海峡日本遺産協議会

（有識者、住民代表、大学生、民間企業等により構成）

(ウ) 認定年度

平成29年度

(エ) ストーリー概要

狭隘な海峡を外国船が行き交う景観の中、日本が近代国家建設へ向け躍動した時代のレトロな建造物群が、時が停止したかのように現在も残されている。

渡船や海底トンネルを使って両岸を巡れば、まるで映画のワンシーンに紛れ込んだような、ノスタルジックな街並みに出会うことができる。

(オ) 構成文化財

門司港駅など42件

イ 普及啓発活動

(ア) 全国に向けての活動

文化庁等主催で毎年開催される「日本遺産サミット」「日本遺産の日」「日本遺産フェスティバル」への出展のほか、NEXCO西日本SA・PAにおけるパンフレット設置やホームページやSNSでの情報発信等を行っている。

(イ) 来訪者、市民に向けての活動

構成文化財への案内設置、VR公開、パンフレットの配布のほか、北九州市、下関市内の各種イベントへの出展、パネル展等を行っている。

2 指定文化財一覽

(1) 国指定

種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者または管理団体
建	旧松本家住宅洋館、日本館、 壹号蔵、貳号蔵 附 東渡廊下、1棟、棟札5枚	4棟	S47. 5. 15 (追加指定) S57. 2. 16	戸畑区一枝一丁目4番33号	一般社団法人 西日本工業倶楽部
〃	門司港駅(旧門司駅)本屋 附 連絡上家1棟	1棟	S63. 12. 19	門司区西海岸一丁目5番31号	九州旅客鉄道株式会社
〃	旧 門司三井倶楽部本館、附属屋 附 幣串1本、倉庫1棟	2棟	H 2. 3. 19	門司区港町7番1号	北九州市
〃	南河内橋	1基	H18. 12. 19	八幡東区河内三丁目	北九州市
〃	部埼灯台	1基	R 2. 12. 23	門司区大字白野江20番1号	海上保安庁(灯台、旧官舎) 北九州市(旧昼間潮流信号機)
〃	若戸大橋	1基	R 4. 2. 9	戸畑区川代二丁目～若松区本町一丁目	北九州市
無民	戸畑祇園大山笠行事		S55. 1. 28	戸畑区(全区)	戸畑祇園大山笠振興会
〃	豊前神楽		H28. 3. 2	福岡県豊前地域ほか	福岡県豊前神楽保存連合会ほか
〃	小倉祇園祭の小倉祇園太鼓		H31. 3. 28	小倉北区	小倉祇園太鼓保存振興会
天	千仏鍾乳洞		S10. 12. 24	小倉南区大字新道寺2764番地ほか	個人
〃	平尾台		S27. 11. 22	〃 〃 2940番地ほか	北九州市
〃	夜宮の大珪化木		S32. 2. 22	戸畑区夜宮二丁目1番内	〃
考	銅矛 附 土器残欠13点、石器3点、ガラス管玉残欠1点	1口	H28. 8. 17	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	〃
歴資	キハ四二〇五五号気動車(キハ〇 七形四一号気動車)	1両	R 4. 3. 22	門司区清滝二丁目3番29号	九州旅客鉄道株式会社

(2) 県指定

種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者または管理団体
建	八坂神社石造燈籠	1対	S38. 1. 16	小倉北区城内2番2号	八坂神社
〃	八坂神社石鳥居	1基	S38. 12. 24	〃	〃
〃	立場茶屋銀杏屋	1棟	H29. 3. 17	八幡西区石坂一丁目4番6号	北九州市
〃	高見神社	13棟 2基	R 6. 3. 29	八幡東区高見一丁目1-1	高見神社
絵	紙本著色即非画像	2幅	S36. 1. 14	小倉北区寿山町6番7号	福聚寺
〃	〃 法雲画像	1幅	S36. 1. 14	〃	〃
〃	〃 木庵画像	1幅	S36. 1. 14	〃	〃
〃	〃 隠元画像	1幅	S36. 1. 14	〃	〃
〃	絹本著色永貞院画像	1幅	S36. 1. 14	〃	〃
彫	木造釈迦如来立像	1軀	S32. 4. 23	小倉南区蒲生二丁目8番6号	大興善寺
〃	木造金剛力士像	2軀	S32. 4. 23	〃	〃
〃	木造如意輪観音坐像 附 舍利5点	1軀	H11. 3. 19 (追加指定) H12. 11. 1	〃	〃
〃	木造阿弥陀如来立像	1軀	S41. 10. 1	小倉北区紺屋町1番6号	宝典寺
工	刀	1口	S33. 7. 26	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	北九州市
〃	脇 差	1口	S33. 7. 26	〃	〃
〃	梵 鐘	1口	S34. 3. 31	小倉南区大字貫254番地	芝津神社
〃	梵 鐘	1口	S34. 3. 31	小倉南区大字新道寺149番地の1	法円寺
〃	梵 鐘	1口	S34. 3. 31	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	井手浦財産組合
〃	藕糸織弥陀三尊来迎図	1幅	S36. 1. 14	小倉北区寿山町6番7号	福聚寺
〃	藕糸織聖衆来迎図	1幅	S36. 1. 14	〃	〃
〃	藕糸織霊山浄土図	1幅	S36. 1. 14	〃	〃
古	門司家文書 附 門司氏家系	5巻 1巻	H18. 3. 3	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	北九州市
考	足立山頂出土古鏡	9面	S37. 7. 26	〃	御祖神社
〃	菜園場窯跡 附 出土遺物一括	1基	S62. 5. 9	小倉北区菜園場二丁目2番内	北九州市
有民	天 秤	2組	S29. 5. 16	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	〃
〃	小倉織縞手本	3冊	S32. 4. 23	小倉北区白銀	個人
〃	戸畑大山笠 勾欄、水引、切幕、見送等	一式	S32. 4. 23	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	戸畑祇園大山笠振興会
〃	ひらた船 附 船具類一括	1艘	S37. 4. 19	八幡西区大膳二丁目23番1号	折尾高等学校
〃	輪蔵 附 経蔵	1基	S38. 1. 16	小倉北区大手町16番16号	永照寺
〃	堀越の十三塚	1区	S38. 1. 16	小倉南区大字堀越	堀越地区
〃	小倉祇園祭のだし(山鉾) 古船場町山車 紺屋町山車 堺町山車	5台	S38. 12. 24	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館) 八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館) 〃	古船場町町内会 紺屋町町内会 堺町町内会

種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者または管理団体
無 民 史 天	西鍛冶町山車 大門町山車			〃 小倉北区大手町1番1号(小倉北区役所)	田町町内会 大門町町内会
	中村平左衛門日記 日記36冊 日記抄出1冊	37冊	S38.12.24 (追加指定) H14.9.2	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	北九州市
	中原嘉左右日記	38冊	S38.12.24 (追加指定) H14.9.2	〃	〃
	小森承之助日記 附 安政七年庚申歳日記小森役所1冊	20冊	S43.2.3	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	北九州市
	黒崎祇園行事 附 関係古文書、笹山笠、太鼓		S43.2.3	八幡西区(黒崎地区)	黒崎祇園山笠保存会
	道原楽		S29.12.13	小倉南区大字道原 道原小学校	道原楽保存会
	石田楽		S33.10.29	小倉南区上石田、下石田	石田楽保存会
	沼楽		S33.10.29	小倉南区沼本町四丁目19番1号(沼八幡神社)	沼楽保存会
	和布刈行事		S33.4.3	門司区大字門司3492番地	和布刈神社
	木屋瀬盆踊(通称宿場踊)		S37.4.19	八幡西区(木屋瀬地区)	木屋瀬宿場踊振興保存会
	広寿山福聚寺	1基	S44.5.1	小倉北区寿山町6番7号	福聚寺
	藍島遠見番所旗柱台		S44.5.1	小倉北区大字藍島338番地ほか	北九州市
	重留遺跡	9基	H12.3.27	小倉南区重住一丁目地内	〃
	曾根古墳群		H24.3.26	小倉南区貫弥生が丘一丁目2458番4号の一部ほか	北九州市、民有地
	黒崎城跡		H29.3.17	八幡西区屋敷一丁目37番38番	北九州市
	城野遺跡		R 2.3.27	小倉南区城野一丁目940番14	北九州市
	堀川		R 6.3.29	八幡西区大膳二丁目水路の一部	北九州市
	梅花石岩層 附 梅花石大形置物1個		S37.4.19	門司区大字白野江514番地ほか (大形置物は旧JR九州本社ビル)	北九州市
	大山祇神社のイチョウ	1本	S37.7.26	小倉南区大字呼野872番地(大山祇神社)	大山祇神社のイチョウ保存会
	三岳のチシャノキ	1本	S37.7.26	小倉南区大字辻三	個人
白野江のサトザクラ	1本	S38.12.24	門司区白野江二丁目7番内(白野江植物公園)	北九州市	
岩屋・遠見ヶ鼻の芦屋層群		H24.3.26	若松区大字有毛字辻2846番地の1、2853番地	ひびき灘漁業協同組合 宗教法人御寄神社 国土交通省(海域部分)	
満干の潮		R 3.7.9	小倉南区大字頂吉	農林水産省林野庁	

(3) 市 指 定

種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者または管理団体
建	寿命の唐戸(水門) 附 開開削記念碑1基	1棟	S46.4.21	八幡西区楠橋西三丁目12番内	北九州市
〃	旧百三十銀行八幡支店	1棟	S61.2.1	八幡東区西本町一丁目20番2号	〃
〃	旧高崎家住宅(伊馬春部生家)	1棟	H 6.3.30	八幡西区木屋瀬四丁目12番5号	〃
〃	大興善寺 山門、舍利殿	2棟	H11.3.30	小倉南区蒲生二丁目8番6号	大興善寺
〃	廣旗八幡宮 本殿、拝殿・幣殿、渡殿 附 棟札10枚	3棟	H14.3.29	八幡西区楠橋上方一丁目4番1号	廣旗八幡宮
〃	岩田家住宅 主屋、土蔵、宅地 附 表門1棟、煉瓦塀1棟、 板塀1棟、棟札1枚、 家相図2枚	2棟	H18.7.20	門司区東本町	個人
〃	蒲生八幡神社 本殿、幣殿 附 拝殿1棟	2棟	H23.12.27	小倉南区蒲生五丁目6番10号	蒲生八幡神社
〃	旧安川家住宅 本館棟、大座敷棟 南蔵、北蔵 洋館棟 附 正門、塀、渡り廊下 棟札3枚、洋館棟家具9点	5棟	H30.8.1	戸畑区一枝一丁目4番23号他	北九州市
絵	絹本著色黒田二十四騎画像	24幅	S50.3.22	八幡西区藤田一丁目10番44号	春日神社
〃	絹本墨画布袋図	1幅	H 7.3.31	小倉南区湯川二丁目6番3号	開善寺
彫	木造聖観音立像	1軀	S51.3.22	小倉北区中井三丁目2番2号	極楽寺
〃	木造阿弥陀如来坐像	1軀	S52.3.22	八幡西区吉祥寺町13番11号	吉祥寺
〃	木造聖観音立像 附 胎内納入木札2枚	1軀	S52.3.22	八幡西区木屋瀬三丁目5番27号	永源寺
〃	木造阿弥陀如来坐像	1軀	S57.3.1	小倉南区大字貫1770番地	西専寺
〃	木造阿弥陀如来坐像	1軀	H 6.3.30	小倉南区中吉田六丁目5番4号	宗光寺
〃	銅造阿弥陀如来立像	1軀	S54.3.22	小倉南区葛原元町二丁目11番11号	称名院
工	銅製鱧口	1口	S46.4.21	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	慈濟寺

種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者または管理団体
古	銅製鱧口	1口	S46. 4. 21	小倉南区大字山本80番地	西大野八幡神社
	銅製鱧口	1口	H29. 3. 31	小倉南区大字市丸1041番	大清水神社
	太刀	1口	S47. 3. 21	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	到津八幡神社
	太刀	1口	S48. 3. 22	小倉北区城内2番2号	八坂神社
	栗色革包萌黄糸威腰取仏丸胴具足	3具	S52. 3. 22	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	福聚寺
	朱漆塗本小札紫糸威丸胴具足		(追加指定)		
	碁石頭伊予札萌黄糸威段替丸胴具足(小笠原忠真着用)		H29. 3. 31		
	梵 鐘	1口	S53. 3. 22	若松区東二島三丁目13番36号	徳雲寺
	平野文書	24通	S54. 3. 22	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	個人
	附 関係近世文書23点				
	一田家文書	295点	S54. 3. 22	八幡西区黒崎三丁目15番3号 (黒崎歴史ふれあい館保管)	個人
	波多野文書	10通	S58. 2. 21	八幡西区藤田	個人
	甲宗八幡神社文書	8通	S60. 2. 1	門司区旧門司一丁目7番18号	甲宗八幡神社
	和布刈神社文書	9通	S60. 2. 1	門司区大字門司3492番地	和布刈神社
	附 近世文書1通				
	善行寺文書 附 近世文書1通	5通	S60. 2. 1	小倉北区古船場町9番20号	善行寺
	寛永三年規矩郡水町村検地帳	3冊	S62. 11. 2	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	北九州市
	豊臣秀次朱印書状	1通	H 2. 11. 13	〃	〃
	長野角屋敷遺跡出土木簡	1点	H16. 4. 20	小倉北区金田一丁目1番3号(市立埋蔵文化財センター)	〃
	朽網南塚遺跡出土木簡	1点	H16. 4. 20	〃	〃
考	一本松塚古墳出土品	一括	S48. 3. 22	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	〃
	椎木山遺跡出土蔵骨器	7個	S54. 3. 22	小倉北区金田一丁目1番3号(市立埋蔵文化財センター)	〃
	須恵質壺、褐釉陶製長胴壺、 青白磁壺、褐釉陶製水注、須恵質 双耳壺、瓦質壺、土師質壺				
	康永二年銘自然石梵字板碑(升塚)	1基	S56. 2. 2	小倉南区西水町6番8号(貴布祢神社)	升塚保存会
	銅 戈	1口	S57. 3. 1	小倉南区大字長野896番地	護念寺
	陶製経筒 附 円鏡蓋1面	1口	H 2. 11. 13	八幡西区吉祥寺町13番11号	吉祥寺
	銅製経筒	2口	H 2. 11. 13	八幡西区上香月一丁目1番1号	聖福寺
	附 石造五重層塔 1基				
	鐸形土製品	1口	H 7. 3. 31	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	北九州市
	武器形石製品未製品	一括	H 7. 3. 31	〃	〃
	陶製五輪塔	一括	H 7. 3. 31	〃	〃
	長宜子孫内行花文鏡	1面	H11. 3. 30	〃	〃
	辻田遺跡出土	11点	H11. 3. 30	小倉北区金田一丁目1番3号 (市立埋蔵文化財センター)	〃
	中期旧石器時代石器群				
	重留遺跡出土鍛冶工房跡	1基	H14. 3. 29	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	〃
	附 関連出土遺物一括			小倉北区金田一丁目1番3号(市立埋蔵文化財センター)	
	小倉城二ノ丸家老屋敷跡出土1号 箱式石棺および副葬品	1基	H15. 3. 31	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	〃
	附 出土関連遺物一括				
	黒崎城跡出土 メダイ	1点	H20. 3. 31	小倉北区金田一丁目1番3号 (市立埋蔵文化財センター)	〃
有民	有毛太郎坊山遺跡経塚出土品	一括	R 5. 12. 15	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	〃
	豊国名所	1帖	S46. 4. 21	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館)	〃
	方位石	1基	S49. 3. 22	若松区浜町一丁目2番37号	恵比須神社
	色絵武者図磁器絵馬	1面	S50. 3. 22	若松区白山三丁目1番1号	白山神社
	板絵著色三十六歌仙図絵馬	36面	S61. 11. 1	八幡東区東田二丁目4番1号(市立自然史・歴史博物館保管)	北九州市
	大橋(常盤橋)の擬宝珠	1個	H 2. 11. 13	〃	〃
	天 秤	1挺	H 5. 3. 30	〃	〃
	板絵著色木屋瀬宿図絵馬	1面	H12. 3. 30	〃	改盛町宿図絵馬保存会
無民	大積神楽		S53. 3. 22	門司区大字大積1272番地(天疫神社)	大積神楽保存会
	合馬神楽		S53. 3. 22	小倉南区大字合馬1590番地(天疫神社)	合馬神楽保存会
	葛原新町楽		S59. 2. 1	小倉南区葛原四丁目3番1号(葛原八幡神社)	葛原新町楽保存会
	楠原踊		S47. 3. 21	門司区旧門司一丁目7番18号(甲宗八幡神社)	楠原踊保存会
	野面の盆踊		S55. 3. 1	八幡西区(野面地区)	野面盆踊保存会
	前田の盆踊		S55. 3. 1	八幡東区祇園二丁目4番23号(前田観音堂)	前田盆踊保存会
	藍島の盆踊		S58. 2. 21	小倉北区大字藍島(藍島渡船場)	藍島盆踊保存会
	天籟寺の盆踊		S58. 2. 21	戸畑区(天籟寺地区)	天籟寺盆踊保存会
	能行の盆踊		S59. 2. 1	小倉南区長行西二丁目2番内(長行西二丁目公園)	能行盆踊保存会
	前田祇園山笠行事		H13. 3. 30	八幡東区(前田地区)	前田祇園山笠保存会
	曾根の神幸行事(開作神事)		H19. 3. 30	小倉南区曾根地区・朽網地区	曾根の神幸祭(開作神事)保存会
	小倉祇園 平松の神輿		H22. 3. 30	小倉北区(平松地区)	平松神輿祭実行委員会
	横代神楽		H30. 8. 1	小倉南区上横代地区	横代神楽保存会
史	小田山古墳群		S46. 4. 21	若松区深町一丁目16番内	北九州市

種別	名 称	員数	指定年月日	所 在 地	所有者または管理団体
〃	曲里の松並木		S46. 4. 21	八幡西区岸の浦二丁目6番地ほか	〃
〃	一本松塚古墳	1基	S48. 3. 22	小倉北区日明三丁目11番内	〃
〃	森鷗外旧居	1棟	S49. 3. 22	小倉北区鍛冶町一丁目7番2号	〃
〃	三条の国境石	1基	S50. 3. 22	八幡東区高見二丁目2番内	〃
〃	九州鉄道茶屋町橋梁		S51. 3. 22	八幡東区茶屋町4番内	〃
〃	歌 塚	1基	S59. 2. 1	小倉北区妙見町17番内	御祖神社
〃	春吉の眼鏡橋 附 石碑1基	1基	H 4. 3. 26	小倉南区大字春吉397番地の7地先	北九州市
〃	立場茶屋銀杏屋 附 永末諸記録1冊、家相図3枚		H 8. 3. 27	八幡西区石坂一丁目4番6号	〃
〃	東田第一高炉跡		H 8. 3. 27	八幡東区東田二丁目3番12号	〃
〃	火野葦平旧居「河伯洞」		H 9. 3. 27	若松区白山一丁目16番18号	〃
〃	木屋瀬宿西構口跡		H10. 3. 30	八幡西区木屋瀬四丁目地内	〃
〃	猿喰新田潮抜き穴跡	2基	H15. 3. 31	門司区大字猿喰1018番地、1019番地、 1462番地の5、1501番地	国、北九州市

(4) 国登録文化財

種別	名 称	員数	登録年月日	所 在 地	所有者または管理団体
建	北九州市旧大阪商船	1棟	H11. 6. 7	門司区港町7番18号	北九州市
〃	門司区役所(旧門司市役所)	1棟	H11. 8. 23	門司区清滝一丁目1番1号	〃
〃	料亭金鍋本館	1棟	H16. 7. 23	若松区本町二丁目516番地、522番地、 523番地	個人ほか
〃	料亭金鍋表門	1棟	H16. 7. 23	〃	〃
〃	旧サッポロビール九州工場事務所棟	1棟	H19. 7. 31	門司区大里本町三丁目6番1号	北九州市
〃	旧サッポロビール九州工場倉庫	1棟	H19. 7. 31	門司区大里本町三丁目11番1号	特定非営利活動法人門司赤煉瓦倶楽部
〃	旧サッポロビール九州工場醸造棟	1棟	H19. 7. 31	門司区大里本町三丁目6番1号	〃
〃	旧サッポロビール九州工場組合棟	1棟	H19. 7. 31	〃	〃
〃	旧古河鋳業若松ビル	1棟	H20. 7. 8	若松区本町一丁目11番18号ほか	北九州市
〃	旧小倉警察署庁舎(旧岡田医院)	1棟	H24. 8. 13	小倉北区室町二丁目2番1号	株式会社 聖林公司
〃	上野ビル(旧三菱合資会社若松支店)			若松区本町一丁目10番17号	上野海運株式会社
〃	本館	1棟	H25. 3. 29		
〃	倉庫棟	1棟	〃	〃	上野海運株式会社
〃	旧分析棟	1棟	〃	〃	〃
〃	門柱及び塀	1棟	〃	〃	〃
〃	門司ゴルフ倶楽部				
〃	クラブハウス南棟	1棟	H26. 10. 7	門司区大字吉志字碑畑175番10号	一般社団法人 門司ゴルフ倶楽部
〃	クラブハウス北棟	1棟	H26. 10. 7	〃	〃
〃	スタートハウス	1棟	H26. 10. 7	〃	〃
〃	九州鉄道記念館(旧九州鉄道本社)	1棟	H26. 12. 19	門司区清滝二丁目909番3号ほか	九州旅客鉄道株式会社
〃	門司港涼山亭(旧丸山山荘)				
〃	主屋棟	1棟	H30. 5. 10	門司区丸山二丁目1363-15他	個人
〃	客間棟	1棟	〃	〃	〃
〃	離れノ間棟	1棟	〃	〃	〃
〃	折尾愛真学園記念館(旧折尾警察署庁舎)	1棟	H30. 5. 10	八幡西区堀川町823-1	学校法人 折尾愛真学園
〃	世界平和パゴダ	1棟	R 3. 2. 4	門司区大字門司3249番地2	宗教法人 世界平和パゴダ
〃	百年庭園の宿 翠水(旧旅館田川 離れ) 菅生	1棟	R 4. 2. 17	小倉北区古船場町9-1他	法人(非公開)
〃	百年庭園の宿 翠水(旧旅館田川 離れ) 企救	1棟	R 4. 2. 17	小倉北区古船場町9-1他	法人(非公開)
〃	百年庭園の宿 翠水(旧旅館田川 離れ) 玄海	1棟	R 4. 2. 17	小倉北区古船場町9-1他	法人(非公開)
〃	百年庭園の宿 翠水(旧旅館田川 離れ) 渡り廊下	1棟	R 4. 2. 17	小倉北区古船場町9-1他	法人(非公開)
〃	八名家住宅(旧庄野家住宅) 主屋	1棟	R 6. 3. 6	門司区柳町3丁目16-10他	個人
〃	八名家住宅(旧庄野家住宅) 離れ	1棟	〃	〃	〃
〃	河野家住宅(旧池本家住宅) 主屋	1棟	〃	八幡東区猪倉町66	〃

(5) 国選択文化財

種別	名 称	員数	登録年月日	所 在 地	所有者または管理団体
無民	小倉祇園太鼓		H28. 3. 2	小倉北区(全区)	小倉祇園太鼓保存振興会

注：建－建造物、絵－絵画、彫－彫刻、工－工芸品、古－古文書、考－考古資料、
有民－有形民俗文化財、無民－無形民俗文化財、史－史跡、天－天然記念物。

3 文化施設

(1) 美術館



北九州市立美術館 本館

① 基本理念

市民の生活に潤いと心の豊かさを創出し、地域と共に成長していく美術館

《基本理念の柱》

- i 作品世界を多様に、存分に味わうために
- ii 地域とともに成長するために
- iii 文化資源を伝承するために

② 基本方針

I 開館以来の世界的美術作品を含む収蔵品の蓄積を踏まえ、質の高い優れた美術作品の収集を心がけながら、地方美術館として特色あるコレクションの形成を目指す。

収集にあたっては時代背景、作家・作品の関係にも留意する。

- 現代の多様性を示す優れた作品
- 地域の美術史を構築する上で欠かせない作品
- 近現代美術史の展開をたどる既存コレクションの充実・補完

II 地域と共に成長していく美術館を目指す。

《「リビング・ミュージアム」実現のためのテーマ》

- i 現代を生きる～美術を通して時代と文化を考える美術館
- ii 地域とともに生きる～暮らしと共存する美術館
- iii 作家・作品と生きる～研究・アーカイヴ機関としての美術館

③ 具体的な取り組み

I 継続的な作品の収集と保護

- i 開館以来の収集方針や所蔵内容の傾向を踏襲した継続的な収集活動
- ii 作品の保護と修復にも努めながら、公開の機会と期間、方法の検討及び効果的な活用方法の模索
- iii 収蔵庫、展示室を含む館内の環境管理

II 魅力的な展覧会の実施

- i 多様な美術を紹介する展覧会の企画（大規模巡回展や多様な美術の企画）
- ii 地域の美術史を構築する上で欠かせない作家、活動を掘り起こす展覧会の企画（地域ゆかりの作家や地域美術の紹介）
- iii 既存コレクションを活用した展覧会の企画（所蔵作品、資料を活用し発信）

III 研究機能の強化

- i 各分野の専門的な研究の推進
- ii 他館や他機関と連携した研究や事業の実施及び成果の共有
- iii 研究成果の公開
- iv 所蔵品、蔵書のデータベースの整備

IV 効果的な教育普及活動の推進

- i ボランティアや学校機関、社会施設などと連動した市民交流
- ii 市内小学生を対象とする「ミュージアム・ツアー」の実践
- iii たんけんパスポートの利用促進
- iv 長期的なアート体験プロジェクトやトークイベントの実践
- v ボランティア制度の見直し

V 市民活用における利便性の向上

- i アネックス棟再整備の検討
- ii 二つの市民ギャラリーの利用促進
- iii 「美術館友の会」の加入促進と活動内容の充実

VI 積極的な情報発信

- i 各事業における適切な広報
- ii 各事業の入場者数や年齢層などに関する分析と対策
- iii 他館や文化施設との広報連携
- iv 美術館活動全体の情報発信
- v 館内外の表示や広報活動における外国語表記

VII 快適なアメニティ空間の整備

- i 快適なアメニティ空間の演出（サイン計画、ミュージアムショップなど）
- ii 市民の憩いの場としての演出（磯崎建築、美術の森公園）
- iii 館内外の表示や広報活動における外国語表記（再掲）
- iv 危機管理マニュアルの策定と更新

④ 令和5年展覧会開催状況

区分	回数(回)	開催日数 (日)	入館者 数(人)	一日平 均(人)
企画展(本館)	4	163	23,534	144
コレクション展(本館)	10	298	38,879	130
共催展(本館)	21	127	17,281	136
貸館展(本館)	66	390	29,845	77
企画展(分館)	2	106	7,637	72
共催展(分館)	4	36	2,814	78
貸館展(分館)	7	64	18,777	293
合 計	114	1,184	138,767	930

注：コレクション展（本館）は講演会等の入館者数を含む。

注：黒崎市民ギャラリーは本館を含む。

注：貸館展(分館)は、講演会等の入館者数を含む。

令和5年度企画展

展覧会名		主催	開催期間	入館者数
本館	スイス プチ・パレ美術館展	北九州市立美術館・読売新聞社・RKB毎日放送	4/22～6/18	11,826
	芳幾・芳年—国芳門下の2大ライバル	北九州市立美術館・毎日新聞社	7/8～8/27	5,621
	石岡瑛子 I デザイン	北九州市立美術館・毎日新聞社	9/9～11/12	6,087
	第78回県展北九州展	福岡県美術展覧会実行委員会・北九州市立美術館	11/22～11/26	1,908
	本館小計			23,534
分館	面構 片岡球子展 たちむかう絵画	北九州市立美術館・毎日新聞社・そごう美術館	4/8～5/21	5,269
	没後50年 松野一夫展	北九州市立美術館・読売新聞社	9/16～11/12	2,368
	分館小計			7,637
合計			31,171	

⑤ 事業

ア 教育普及事業

ワークショップの実施や鑑賞プログラムの提供などとおして、市民への教育普及活動の充実や学校教育と連携した事業を実施する。

＊「たんけんパスポート」の配付

企画展およびコレクション展を無料で観覧できる(合計9展)たんけんパスポートを市内の全小・中学生に配付。

令和5年度利用者数：1,146人

＊ワークショップの実施

子ども向けのワークショップの一層の充実を図る。

令和5年度実施回数：7回 参加人数：99人

＊アウトリーチ事業

ワークショップ《ぬいかけの植物園計画室》を実施。

講師 中島佑太(アーティスト)

令和5年度実施回数：7回 参加人数：59人

＊美術館授業(館内)の実施

小・中学校の教職員らが実施する所蔵作品を活用した授業を支援する。

令和5年度実施回数：10回 参加人数：255人

＊美術鑑賞事業(ミュージアム・ツアー)の実施

「美術鑑賞事業」として、バス借り上げで市内の全小学3年生を対象として美術館での授業を実施。

令和5年度実施回数：130回 参加人数：7,639人

イ 講座・講演会等

美術についての興味や関心を高め、教養を深めるため、展覧会に関連する講師による講座・講演会等を開催。

令和5年度実施回数：45回 参加人数：2,064人

ウ 友の会

美術に関心を持つ人々の集まりで、会員の教養、親睦を深めるとともに美術館の活動を援助する。

会員数：485人・15法人(令和6年3月31日現在)

⑥ 美術品所蔵状況

ア 所蔵品一覧(令和6年3月31日現在)

区分	購入	寄贈	寄託	合計
油彩	479	391	40	910
彫刻	57	82	3	142
水彩・素描	399	1,358	15	1,772
版画	1,971	2,697	22	4,690
写真	138	72	0	210
映像	3	7	0	10
インスタレーション	2	2	1	5
日本画	41	67	1	109
中国美術	0	155	0	155
工芸	9	16	0	25
資料	7	1	0	8
合計	3,106	4,848	82	8,036

イ 令和5年度 主な収蔵品

作者名	タイトル	区分
磯崎 新	Reduction OFFICE- I	版画
サイトウマコト	Face Landscape LF_11	油彩

⑦ 美術ボランティア

展覧会や美術作品の価値や魅力を伝えることを目的として、1974年、当美術館開館時より日本で初めての美術ボランティアを導入。リニューアル工事に伴い一時解散。平成30年7月再募集し活動再開。アートプロジェクトの補助・企画・実施、来場者に対する鑑賞サポート、美術資料などの情報整理を行う。

(2) 自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館）

① 基本方針

「いのちのたび」をコンセプトとして、生命の進化の道筋を自然と人との両面から展示解説するとともに、未来に向けて私たちの生き方を考える博物館とする。

《博物館の目指す方向性》

- ・ 知的アクセス権を保障する博物館
- ・ セカンドスクールとしての博物館
- ・ 研究の成果を教育普及に生かす博物館



② 展示内容

自然史ゾーン	エンバイラマ館 (約 1,000 m ²)	恐竜や昆虫、植物など北九州地域の太古に生息したと考えられる動植物を再現展示し、ドーム型の立体的ジオラマを歩きながら体感できる。
	アースモール (約 1,800 m ²)	100mの回廊展示空間に、地球の誕生から現在に至る変遷とその過程を、恐竜や動物などの骨格標本を中心に解説展示。
	自然発見館 (580 m ²)	北九州地域の自然の特徴をジオラマで再現し、そこに棲む昆虫や魚類の生態を解説する。
歴史ゾーン	カルチャーモール (約 160 m ²)	「北九州の三大夏祭り」とされる小倉祇園・黒崎祇園・戸畑祇園の山車や山笠を一堂に集め、北九州の人々が培ってきた伝統的文化を紹介。北九州市や日本の美術工芸品を集めた、ヒストリーアートギャラリーを新設。
	テーマ館 (約 1,000 m ²)	旧石器時代から工業都市として発展した近現代までの北九州の歴史を約 1,500 点の歴史資料や、ジオラマ・映像解説により紹介。
	探究館 (約 300 m ²)	北九州市内で発掘された弥生時代の竪穴式住居と昭和 30 年代の八幡製鐵所社宅を原寸大で再現し、そこで営まれた当時の人々の暮らしが実感できる大型展示空間。
共通ゾーン	子どもミュージアム (約 180 m ²)	幼児や児童が遊びながら自然や歴史について理解できるコーナー。
	市民ライブラリー (約 45 m ²)	図書資料で、自然史・歴史について学習できるスペース。

③ 令和 5 年度入館者状況

ア 博物館利用状況（学校関係）

		遠足・社会見学	修学旅行	教科学習	総合的な学習の時間	合計
小学校	学校数	363	108	35	30	536
	人数	23,657	8,603	1,297	1,431	34,988
中学校	学校数	37	42	1	5	85
	人数	2,648	3,499	28	332	6,507
高等学校・大学 ・専門学校	学校数	35	5	2	2	44
	人数	2,121	251	98	167	2,637
特別支援学校	学校数	22	12	0	3	37
	人数	665	267	0	51	983
学校全体	学校数	457	167	38	40	702
	人数	29,091	12,620	1,423	1,981	45,115

イ 入館者内訳

開館 日数	入館者数				
	合計 (人)	一般 (人)	高校生・大学生 (人)	小・中学生 (人)	未就学児 (人)
355	431,278	202,696	16,033	114,470	98,079

④ 事業

ア 特別展

名称	場所	期間(日)	入館者数(人)
「世界の野生ネコ科展」	ギャラリー館	R5. 3. 4～5. 7	55,768
「恋するいきもの展」	ギャラリー館	R5. 7. 15～9. 18	58,286
「なつかしい暮らしと道具展」	ギャラリー館	R5. 10. 14～12. 3	26,006
「博物館のお正月2024～辰～」	ギャラリー館	R5. 12. 26～12. 28、 R6. 1. 2～2. 18	47,180 (※期間中の常設展全入場者数)
「カラズ～自然の色のふしぎ展」	ギャラリー館	R6. 3. 16～5. 6	37,154

イ 企画展

学芸員の研究成果の発表の場として、ぼけっとミュージアムなどを使用しての展示会。博物館の収蔵品をテーマ別に期間を定めて詳細に解説展示する。

令和5年度実施回数 15回

(内訳)

ぼけっとミュージアム 4回

クリスマス展示 1回

その他展示 10回

ウ セカンドスクール事業

博物館を第2の学校(教育の場)として位置付け、理科・社会科へ学習意欲をもたせる仕組みづくりを進めている。

(主な事業内容)

ミュージアムティーチャー(博物館勤務の教員)3人による博物館体験学習の実施及び学習プログラムの作成

エ 普及講座

学芸員が専門分野における各種講演会や室内講座、野外観察会、夏休み教室などさまざまな催しを行い、参加者により深く自然や歴史への関心を促すもの。

令和5年度実績

・室内講座(自然史)

「小さな化石にふれてみよう!」ほか11回

・野外観察会「身近な森を知ろう」ほか5回

・室内講座(歴史)

「古文書読み方講座」ほか14回

・歴史探訪1回

・子ども教室 6回 子どもスクール 10回

・特別展関連イベント 7回

オ 博物館ボランティア

1 いのちのたび博物館シーダー

来館者の学習のための事業やその支援及び博物館資料の整理保管業務の支援をとおり、北九州市立自然史・歴史博物館が地域に根ざした社会教育機関・文化施設としての役割を果たすことを目的として設置。併せて、ボランティア自身の学習意欲の向上ややりがいを生むものとする。

いのちのたび博物館ではボランティアをシーダー(意味:種をまく人)と呼んでいる。

平成15年度に博物館ボランティア養成講座を実施。講座を修了した者からボランティアを登録。平成16年度より活動開始。

在籍数 42人(令和6年3月31日現在)

<活動内容>

令和5年5月より、全グループ(展示案内・講座補助・

演示)のシーダー活動を全面再開

2 いのちのたび博物館資料整理補助組織

シーダーとは別に、以下のとおり史料整理補助組織を設置している。

・植物さく葉標本整理補助ボランティア 6人

・現生脊椎動物標本整理補助ボランティア 6人

・小倉織復元補助ボランティア 13人

カ 東アジア友好博物館交流事業

韓国の仁川広域市立博物館および中国大連市の旅順博物館との交流事業で、平成22年度より継続実施している。

令和5年度は第3期交流事業の2年目で、仁川広域市立博物館が幹事館であり、7月25日に実務者会議、12月6日に館長会議を実施した。当館は現地に赴いて会議に出席したが、旅順博物館はオンラインで出席した。

第三期事業は学術交流に重点を置いており、令和5年度は「東アジアの海港都市と島」をテーマとして、12月5日に仁川広域市立博物館でシンポジウムを開催した。韓国・国立民俗博物館チョン・ヨンハク学芸研究官による基調講演「仁川の島民の生活文化」ののち、三館の職員・学芸員が関連報告をおこなった。参加者は60名で、129ページの要旨集(三ヶ国語)も刊行された。当館は現地でシンポジウムに参加したが、旅順博物館はオンラインで参加した。シンポジウムの成果については、歴史友の会と共催の講演会と、館内の「東アジア友好博物館交流コーナー」で報告した。これらの事業については、公益財団法人カメイ社会教育振興財団の助成を受けた。

キ 北九州ミュージアムパーク創造事業

自然史・歴史博物館は東田地区にあるタカミヤ環境ミュージアムのほか、美術館などと相互連携して、平成30年度から、文化庁の「地域の美術館・歴史博物館クラスター形成支援事業」の助成を受け「北九州市東田地区ミュージアムパーク創造事業」を実施してきた。

令和2年度の「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」の施行を受けて、新設予定の科学館や5市内の企業博物館を加え、5年間をかけて、「北九州ミュージアムパーク創造事業—東田エリアを中核とする文化×産業×観光—」に取り組むこととした。

令和5年度は、①北九州市が誕生した昭和38年頃に焦点をあてた「なつかしい暮らしと道具展」を開催、②地域の歴史資源アーカイブ構築のための写真撮影やデータベース作成、③中核館である博物館の展示空間拡充(磨き上げ)のため、R3年度に策定した基本計画に基づき、常設展の展示リニューアルを行った。

ク 友の会

自然史友の会

会員数 546人（令和6年3月31日現在）

（活動内容）

自然に親しみ、自然から学ぶことを目的とし、会誌「わたしたちの自然史」158号および159号を発行した。また、小倉北区山田緑地にて合同観察会を、市民向けの植物細密画講座を2回、7研究部会による独自の例会を34回実施した。加えて、研究発表会や45周年記念事業（講演会）、会員向け室内講座なども実施した。

歴史友の会

会員数 137人（令和6年3月31日現在）

（活動内容）

歴史・考古学に関する様々な形での学習をとおして、自己啓発と会員相互の親睦を図っている。

令和5年度は、小倉城主や前方後円墳に関するものなど講演会を12回開催し、のべ978人が参加した。また福井方面など史跡見学会を5回、学芸員と行く文化財ガイドツアーを2回実施し、のべ179人が参加した。

⑤ 資料収集状況（登録資料数）

		4年度まで (点)	5年度 (点)	合 計 (点)	5年度の内訳 (点)			
					寄 贈	寄 託	購入など	採 集
自然史	生物系	96,466	2,185	98,651	2,001	0	5	168
	地学系	41,426	1,316	42,742	1,282	0	17	17
歴史	歴 史	34,245	1,006	35,251	902	0	104	0
	考 古	51,446	508	51,954	508	0	0	0
合 計		223,583	5,015	228,598	4,693	0	137	185

(3) 科学館（スペースLABO）



① テーマ

科学や技術への興味・関心を高め、北九州市の未来を担う人材を育む、賑わいを創出する科学館。

② 施設概要

国内最大の竜巻発生装置や西日本最大級のプラネタリウム、天体観測用50cmカセグレン式反射望遠鏡などの設備を有する。

③ 主な施設

ア 常設展示室（サイエンスLABO）

1Fには大型竜巻発生装置や「Mr. トルネード」藤田哲也博士顕彰コーナーなど、2Fには不思議な科学現象を体験・体感できる展示室。

イ プラネタリウム

光学式・デジタル式の投影機器を備えたドーム径30mの西日本最大級のプラネタリウム。

ウ ANNEX（分館）

工作室、実験室、スタジオなどを有し、科学教室やクラブ活動、サイエンスショーなどを実施。



大型竜巻発生装置

④ 主な事業

ア 科学体験教室事業

生活に身近な科学や工作の楽しさを味わえる小学校低学年向けの教室から、企業や大学、研究機関と連携した最先端の科学技術を学べる小学校高学年以上向けの教室まで、対象年齢に応じた各種教室を開講。その他、楽しい演出を交えながら科学の楽しさを知ってもらうサイエンスショーや各種科学イベントを実施。

イ チャレンジロボット事業

小中学生を対象に、ロボットの基礎や動作の原理、プログラミングなどの技術について、遊びを通して楽しく学び、将来の技術者、科学者となるきっかけづくりを目的とする。

(7) 年間を通して自律型サッカーロボットのプログラミングを親子で体験する「親子でロボットプログラミング」、ロボットの制作からプログラミングまで一貫して体験できる「サッカーロボット教室」の2教室。

(4) 北九州市ロボカップ会と連携を図りながら、国際ルールに則った「ロボカップジュニア」競技会や「ノード大会」を開催。

ウ 天文事業

プラネタリウムおよび50cm反射望遠鏡を活用した学習および天文普及を目的とする。

(7) 小学生対象天文学習

市立小学校4年生を対象にプラネタリウムを活用し、学習指導要領に準拠した天文学習を実施。

(4) 中学生対象天文学習

市立中学校の生徒に対してプラネタリウムを活用した天文学習を実施。

(4) 幼児プラネタリウム

幼稚園、保育所・園の館利用を促進し、科学や天文について不思議や楽しさを味わうようにする。

(エ) 天文普及

星空に親しみ、天文について興味関心をもたせる。観望会「星の観望の夕べ」、「昼間の星を見る会」、小中学校教職員天文講座、市民天文講座など。

(オ) プラネタリウム放映

1日5回放映（夜間放映日は6回）、通常番組のほか特別番組を放映する。

a 学習番組………幼児、小学校、中学校

b 一般向番組………通常番組、特別番組（字幕付バリアフリー放映、震災特別番組「星よりも、遠くへ」など）

エ ボランティア育成事業

市民のボランティアへ活動の関心を高めるとともに、館の運営に協力を求める。

オ クラブ活動

継続的な活動を通じ科学や天文に対する関心や理解、ものづくりに必要な技術を身につけるようにする。「科学クラブ」「天文クラブ」「プラネタリウムクラブ」「北九州市少年少女発明クラブ」の4クラブ。

カ その他の事業

おもちゃ病院、福岡県児童生徒発明くふう展、北九州市理科展、東田ミュージアムパーク連携事業など。



プラネタリウム

利用状況（令和5年度）

項目	人数 (人)	割合 (%)
常設展示室（サイエンスLABO）	162,170	40.7
プラネタリウム	135,378	33.9
企画展示室	49,417	12.4
ANNEX（分館）・教育普及事業	51,918	13.0
合計	398,883	100.0

(4) こども文化会館



① 目的

児童文化の普及や創作活動を促進することによって、幼少期の子どもの創造力や表現力をはぐくみ、人間性豊かな青少年を育成するとともに、子育てについての支援を行うことを目的とする。

② 施設概要

黄色の建物が目印で、童話を人形で表現したお話の庭や、素足で遊べるカーペット張りの館内など子どもたちが親しみやすい施設づくりとなっている。照明、音響設備を備えた児童劇場をはじめ、児童文化活動に携わっている市民や団体が自主的な活動をするための研修や会議の場の提供をしている。なお、到津市民センターと併設している。

③ 主な事業

ア 主催事業

- (ア) 児童講座（茶道、演劇、落語、読書感想文、ヨガ）
- (イ) 創作教室
生け花、工作など
- (ウ) 鑑賞（観覧）プログラム
人形劇、演劇、子ども寄席、音楽コンサート等の公演、アニメ映画上映、読み聞かせなど
- (エ) 季節的行事
たなばたまつり、こども文化フェスティバルなど

イ その他事業

- (ア) 児童文化団体の育成
- (イ) 創作活動の作品展示
- (ウ) 関係団体主催行事の後援
- (エ) 児童文化資料提供
- (オ) 遊具の貸出
- (カ) 図書の閲覧、貸出

利用状況（令和5年度 事業別）

項目	人数 (人)	割合 (%)
一般	7,350	58.2
団体	3,758	29.7
各種講座・イベント等	1,525	12.1
合計	12,633	100.0

(5) 松本清張記念館



① 基本方針

北九州市出身の作家・松本清張の多岐にわたる創作活動を体系的に紹介し、清張とその時代の研究を行っていく。
また、あらゆる清張情報のニーズに対応するためデータベースの構築を行う。

② 展示内容

展示場所	内 容
展示室 1	清張作品の時代背景を映像やグラフィックで展示する同時代パノラマや、清張文学の全貌をジャンル別に資料で紹介。
推理劇場	現代史ノンフィクションの代表作「日本の黒い霧」を題材に、貴重な資料フィルムや写真などで構成されたオリジナルドキュメンタリー映像「日本の黒い霧—遙かな照射」を上映。
展示室 2	清張の自宅（東京）の2階建て『書斎・書庫・応接室』を再現したもので、3万点に及ぶ膨大な蔵書類や美術コレクションは『調べて書く』という創作姿勢を象徴している。
その他	特別企画展の展示や映像作品を上映する企画展示室・映像ホールのほか、会議室、情報ライブラリ、読書室、ミュージアムショップなど。

③ 令和5年度入館者状況

ア 記念館利用状況（令和5年度）

入館者数 （人）	開館日数 （日）	1日平均入館者数 （人）
29,143	308	94

イ 入館者内訳（令和5年度）

総 数 （人）	常設展入館者数（人）			その他 入館者数 （人）
	大 人	中高生	小学生	
29,143	22,469	1,161	723	4,790

④ 事 業

ア 企画展

企 画 展 名	期 間	入館者数 （人）
ミニ企画展「松本清張が君たちに伝えたかった徳川家康」	R5. 7. 20～ R5. 12. 17	11,371
特別企画展「清張福岡紀行」	R5. 9. 30～ R5. 12. 17	4,327

イ 中高生読書感想文コンクール

清張作品や人物像の理解を深めるとともに、若年層の活字離れを防ぎ、新たな読者層の開拓と拡大を図る目的で、平成14年度から実施。

募集期間：令和5年4月～令和5年9月30日
課題図書：「点と線」「或る『小倉日記』伝」「地方紙を買う女」

応募点数：272点
表彰式：令和6年2月24日

ウ 研究奨励事業

○第25回研究奨励事業

募集期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日
応募総数：9点

入選者・奨励金

研究課題	氏名など	奨励金
『松本清張における服装の変容と無意識の構造—ジャック・ラカンの精神分析を手掛かりに—』	川里 卓 (フランス国立東洋言語文化大学日本語学部専任講師)	60万円
『松本清張文学研究—「法」の問題を中心に—』	孫平 (九州大学比較社会文化研究院)	30万円

エ 講演会など

講演会・イベント等を実施した。

内 容	講 師	期日	参加者 数 （人）
第45回研究発表会「松本清張『砂の器』国際シンポジ	第一部： 山田有策 (東京学芸大)	R5. 6. 24	100

ウム」 第一部：記念講演 第二部：研究発表・討論	名誉教授・研究会代表理事) 第二部： 《発表者》 ・田中ゆかり(日本大学教授) ・王成(中国・清華大学教授) ・角田拓也(コロンビア大学教授)		
北九州市制60周年松本清張記念館開館25周年記念講演会	佐藤 究 (作家)	R5. 8. 6	152

キ 記念館刊行物

記念館図録・企画展図録・研究誌・館報

⑤ 資料収集状況

区分	4年度まで (点)	5年度 (点)	合計 (点)
購 入	6,938	8	6,946
寄 贈	28,620	0	28,620
寄 託	4,053	0	4,053
合 計	39,611	8	39,619

オ 推理劇場オリジナル映像上映

清張がその探究心と情熱を注いだ現代史の代表作「日本の黒い霧」などを題材にした映像を館内の推理劇場で上映。

映像構成

- 日本の敗戦と松本清張の戦後 ● 帝銀事件
- 下山事件 ● 松川事件 ● 黒地の絵

カ 友の会

清張作品の愛好家や関心を有する人々を対象として、清張とその作品及び記念館についての理解を深めることを目的に設立。(年度は8月から翌年7月)

会員数 388人(令和6年5月1日現在)

期 日	事 業 名	内 容
R5. 4. 8	読書会	「告訴せず」
R5. 5. 13	読書会	「鷗外の婢」
R5. 6. 10	読書会	「菊枕」
R5. 7. 8	読書会	「恩誼の紐」
R5. 7. 22	清張サロン	『砂の器』が書かれた頃、そしてその後」
R5. 9. 9	読書会	「啾々吟」
R5. 10. 7	朗読劇	劇団前進座「砂の器」
R5. 10. 14	読書会	「2冊の同じ本」
R5. 10. 28	清張サロン	企画展「清張福岡紀行」について
R5. 11. 11	読書会	「愛犬」
R5. 12. 9	読書会	「声」
R5. 12. 24	生誕祭	講演会「松本清張2023」
R6. 1. 13	読書会	「赤猫」
R6. 2. 10	読書会	「河西電気出張所」
R6. 3. 9	読書会	「奇妙な被告」
R6. 3. 16	清張サロン	「松本清張『砂の器』とハンセン病」

(6) 文学館



① 基本方針

北九州にゆかりのある文学者と文芸活動に関する資料を収集、保存するとともに、調査、研究、展示などを通じて次世代に継承していく。また、林芙美子文学賞などの文学賞やコンクールを通じ、人材育成に取り組むとともに、本市の文学的土壌の豊かさを全国に向けて発信していく。

② 展示内容（常設展示）

北九州文学の扉 シンボルウォール	北九州市の自然や行事などの風物は文学者の心を捉え、様々な作品に描かれている。文学の中の北九州を、風景や文章が味わえる映像で紹介。
北九州の文学者	明治の文豪・森鷗外から杉田久女、橋本多佳子、林芙美子、火野葦平、宗左近まで本市の文学史を彩る6人の文学者を貴重な資料とともに詳しく紹介。
北九州の文学のあゆみ	明治以前の文学に始まり、短歌、俳句・川柳、散文、児童文学、詩の歴史を分野別に紹介。
今、活躍する作家	平野啓一郎さん、リリー・フランキーさん、松尾スズキさんなど、様々な分野で活躍中の作家約40名を紹介。作家の自筆原稿などを定期的に入替え展示。
世界に広がる北九州の文学	世界各国で読まれている本市ゆかりの文学作品の中から39か国で翻訳された70作品を地図上で紹介。一部展示。
デジタル展示システム	11台のタッチパネル式デジタル展示システムを設置。展示されている資料の裏面など、展示ケースの中では隠れて見えないところも見ることが可能。
北九州ゆかりの文学者 (映像コーナー)	北九州にゆかりのある文学者を映像で紹介。 森鷗外 杉田久女 林芙美子 橋本多佳子 横山白虹 阿南哲朗 劉寒吉 岩下俊作 火野葦平 松本清張 みずかみかずよ 宗左近 芥川賞・直木賞作家一覧
資料検索コーナー	文学館が所蔵する文芸資料に関する検索が可能。
北九州文学マップ	北九州市内にある文学碑、文学関連施設を紹介。

③ 令和5年度入館者状況

文学館 入館者 (人)	開館日数 (日)	1日平均入館者 (人)
19,758	309	63

④ 事業

ア 特別企画展

企画展名	期間	入館者 (人)
長野ヒデ子の絵本と紙芝居展	R5.7.22～ R5.9.18	4,106
【関連事業】長野ヒデ子 さんお話し会	R5.7.22	
【関連事業】長野ヒデ子 さんワークショップ	R5.7.23	
【関連事業】絵本と紙芝 居の読み聞かせ	R5.8.6 R5.8.19 R5.9.3 R5.9.16	

企画展名	期間	入館者 (人)
写真と文学でたどる日本の世界文化遺産	R5.10.28～ R6.1.14	4,260
【関連事業】開会記念講 話（日比野利信さん〔北 九州市立自然史・歴史博 物館学芸員〕）	R5.10.28	
【関連事業】講座（井上 保之さん〔北九州市市民 文化スポーツ局長〕）	R5.11.18	
【関連事業】講座（藤原 恵洋さん〔建築史家、九 州大学名誉教授〕）	R5.12.2	
【関連事業】講座（清水 憲一さん〔九州国際大学 名誉教授〕）	R5.12.17	

イ 企画展

企画展名	期間	入館者（人）
アメリカ文学 その広大さと多様さ (第45回光草書道会)	R5. 4. 29 ～R5. 5. 7	1, 197
生誕120年記念 拝啓 林芙美子様 ー芙美子への手紙ー	R5. 5. 20 ～R5. 6. 30	2, 038
【関連事業】連続講座 (今川英子さん〔北九州市立文学館館長〕)	R5. 6. 17 R5. 6. 24	
日本現代川柳作家展	R6. 3. 1 ～R6. 3. 31	1, 714

⑥ 資料収集状況（寄贈・寄託手続きが終了したもの）

区分	令和4年度まで	令和5年度	合計
購入	7, 245	164	7, 409
寄贈	94, 252	380	94, 632
寄託	30, 062	0	30, 062
合計	131, 559	544	132, 103

ウ 講座

講座名	期間	受講者（人）
村田喜代子の「こんな本、読んだ？」	R6. 2. 4 R6. 3. 17	82

エ ロビー展示

櫛山荘子ども俳句大会の作品展示（R5. 12. 9～R5. 12. 28）

オ 文学賞事業

内容	募集期間	応募作品数（点）
第14回「あなたにいたくて生まれてきた詩」コンクール	R5. 6. 15～9. 30 表彰式： R5. 12. 9	1, 206 〔小学生 92〕 〔中学生 1, 114〕
第15回子どもノンフィクション文学賞	R5. 9. 1～11. 30 表彰式： R6. 3. 23	465 〔小学生 214〕 〔中学生 251〕
第10回林芙美子文学賞	応募締切： R5. 9. 13 表彰式： R6. 2. 25	450
九州芸術祭文学賞	地区選考	

カ 刊行物

発行年度	内容
令和5年度	館報第34号・35号

⑤ 交流ひろば・ワークステーション利用状況

文芸団体、同人誌グループ、文芸ボランティア等の情報交換、交流の場として、集会、合評会、作品発表・展示、朗読会、文芸講座などの活動に利用。

延利用団体数（団体）	延利用者数（人）
71	1, 025

(7) 長崎街道木屋瀬宿記念館



みちの郷土史料館



こやのせ座

地域の伝統文化の継承や文化振興の核となる施設として、平成13年1月1日にオープンした。

郷土の歴史・文化を楽しく学ぶことができる「みちの郷土史料館」、芝居小屋をモチーフとした多目的ホール「こやのせ座」などがある。

管理・運営は、地元組織8団体で構成される「長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会」と行政が協働で行っている。

① 利用状況（令和5年度）

区分	利用者数（人）
みちの郷土史料館	3,642
こやのせ座	9,717
記念館広場など	17,134
合計	30,493

② 事業

ア みちの郷土史料館 企画展など

- ・二川秀臣作品展 長崎街道の宿場町
令和5年4月29日～令和5年6月25日
- ・むかしのどうぐ展 みてさわって、体験しよう
令和5年7月15日～令和5年8月27日
- ・街道のいいつたえ展
令和5年10月28日～令和5年12月17日
- ・長崎街道ひなまつり 木屋瀬宿～立場茶屋銀杏屋
令和6年2月10日～令和6年3月24日

イ 講座

- ・講座“木屋瀬 時代(とき)の散歩道”
令和5年9月8日～令和5年10月6日 全5回

ウ こやのせ座 イベント

- ・木屋瀬芸術祭、こやのせ座落語会、木屋瀬いろは歌留多大会、ニューイヤークンサートなど。
その他、貸ホールとして、研修会や楽器・踊りの練習会、ピアノ発表会、劇団公演などに活用された。

エ 記念館刊行物

- ・長崎街道木屋瀬宿記念館だより「寄せ太鼓」（年3回）

Ⅲ 青少年育成

心豊かな青少年の育成と社会全体で青少年を育てる意識の醸成を目標に、すべての青少年が社会との関わりを自覚し、自己を確立・向上していけるよう、家庭・地域・学校・行政などが連携して、青少年健全育成のための社会環境づくりを進めている。

① 青少年への社会体験活動などの機会や場の提供

ボランティア体験活動をはじめとした社会体験活動、文化・スポーツ活動等、多様で豊富な体験活動の場を提供し、生きる力の核となる豊かな人間性（自立心、責任感、人を思いやる心、基本的な倫理観など）を育てていく。

○ボランティア活動をはじめとした、社会体験・生活体験の推進など

② 関係団体や活動への支援

子ども会やボーイスカウトをはじめとした青少年育成団体などによる地域における青少年育成活動を支え、地域の教育力の柱となる団体の活性化に向けた支援を行う。また、少年自然の家等の青少年教育施設の活用や、青少年を育成する人材の養成・確保などを通じて、子どもを育成する環境を整える。

○青少年育成団体活動への支援、青少年教育施設の活用促進など

③ 家庭の教育力の向上

家庭における基本的な生活習慣や規範意識などを身に付けるとともに、親子のコミュニケーションを高めることができるよう、家庭の教育力の向上に向けた取組みを進める。

○親子で参加できるイベントや体験教室の実施など

1 自然・社会体験活動

核家族化や少子化、都市化等により、青少年の健やかでたくましい成長に欠かせない他者との関わりや自然とのふれあいなどを体験する機会が減少している。このためボランティア活動をはじめとしたさまざまな社会体験、キャンプや登山等の自然体験の機会を充実させ、社会性や自立心、人を思いやる心など豊かな人間性を育む取組みを行う。

(1) 青少年体験活動の活性化

子どもたちが参加することができるさまざまな体験活動情報を、パンフレット「キッズチャレンジ」やホームページなどにより効果的に発信する。

また、子どもたちが地域の中で、自主的・主体的・継続的に体験活動を行うことができるよう、活動を支える青年リーダーの育成を図る。

これらの取組みを通じて、より多くの子どもたちに体験活動の機会を提供することで、健全育成を図る。

(2) 青少年ボランティアステーション推進事業

青少年の成長に欠かすことのできないさまざまな体験活動等を通じ、青少年が社会の構成員としての規範意識や社会性、協調性などを身に付けることができるよう、青少年ボランティアステーションを拠点に、青少年のボランティア体験活動を支援、促進する。

また、ひきこもりや非行少年ら、困難や課題を抱える少年の社会的自立を支援するため、社会参加ボランティアプログラムを実施する。

場所：ウェルとばた3階（電話871-0330）

ボランティア体験者延べ人数：3,983人（令和5年度）



「山田の森ぐらし」ボランティアでの
青少年ボランティア体験の様子

(3) チャレンジ100キロ

小学4年生から中学3年生までを対象に、市内の青少年施設に宿泊しながら、主要な山の登山を含む約100キロを歩き、心身共にたくましい子どもの育成を図る。

実施期日：令和7年3月26日～30日（4泊5日）

募集人数：72名程度



(4) 南九州市・北九州市子ども交流事業

北九州市と南九州市の子どもが、互いの市を訪問し、“ものづくりのまち”と“農業のまち”というそれぞれの特徴を活かし、両市の豊かな自然や歴史、産業の学びを通じた交流を行うことで、両市の交流と青少年の健全育成を図る。

期日：令和6年7月23日～25日（2泊3日）

会場：北九州市

募集人数：40名程度（北九州市20名・南九州市20名）

2 子どもの育成活動

子ども会活動などの地域における子どもの育成活動は、地域の教育力として不可欠なものである。しかし、近年、子ども会の加入者の減少などにより、そのような活動の場や機会が減少傾向にある。このため、子ども会をはじめとした青少年育成団体活動の活性化などにより、次代を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、地域全体で子どもの育成に取り組む環境づくりを行う。

(1) 子ども会などの地域活動推進事業

子ども会をはじめとした、子どもたちの地域活動の活性化を図るため、その環境づくり、仕組みづくりを行う。

- ①遊びの達人の派遣
- ②子ども会などの地域活動団体調査
- ③子ども会などの地域活動団体との意見交換会

(2) 青少年育成団体の活動

市内では、「子ども会」「ボーイスカウト」「ガールスカウト」「海洋少年団」「青少年育成市民会議」などの青少年育成団体が活動しており、それぞれの団体が、青少年健全育成のための各種行事を実施している。

また、これらの青少年育成団体が定期的に集い、活性化に向けた取組みや、各種情報の共有などについて検討する場を設けている。

(3) 遊びの広場促進事業

異年齢集団での活動や自然体験等の各種体験活動を促進し、子ども会をはじめとした青少年関係団体などの活動の活性化を図るため、市内の団体・グループが実施する子どもの体験活動等の事業のうち、他の団体のモデルとなる活動に対して、1事業につき20万円を限度に助成を行う。

助成実績：5件（令和5年度）

(4) 青少年団体指導者の育成支援

青少年育成団体などにおいて実施している指導者の資質向上を目的とした研修会等の支援を行う。

また、青年団体の諸活動の活性化を図ることを目的に、青年リーダー養成のための研修会を実施する。

3 青少年育成活動

青少年が自主・自立の精神を身に付け、さまざまなことに挑戦する積極的な意欲を育てるため、青少年育成団体活動への支援や、異世代や同世代間の交流機会の充実を図るなど、青年たちの地域社会における主体的・自主的活動を活発にするための取組みを行う。

(1) 北九州市二十歳の記念式典

二十歳に達した青年を祝い励ますとともに、大人としての自覚を促すため、市民・民間（各種団体・企業など）・行政が一体となって、実施する。

期 日：令和7年1月12日（日）

対 象 者：約9,000人

会 場：西日本総合展示場 新館

(2) 青年団体の活動

本市には、「青少年施設ボランティアサークル」や「国際交流団体」などの青年ボランティア団体やサークルが多数あり、さまざまな自主的な活動が行われている。

また、子ども会やボーイスカウトのような青少年育成団体等に所属する高校生・大学生らの青年リーダーが「青少年育成シニアリーダー会議『ぼんて』」を組織し、若者の視点で各団体の現状を見つめ直し、PR活動や団体間の交流促進、指導技術の提供へ向けた検討などを行い、青少年健全育成を目指した取組みを行っている。

(3) 青少年施設ボランティアの養成

少年自然の家等の青少年教育施設をボランティア活動の場として積極的に提供するとともに、ボランティアに関する研修等を行うことで、青少年の健全育成や社会参加などを支援する。

(4) 中高生の居場所づくり

ユースステーションや夜宮青少年センターにおいて、中高生をはじめとする若者が気軽に学習やスポーツ、文化活動、仲間との懇談などを行うことができる環境を整えることにより中高生の居場所づくりを支援する。

4 親子のふれあいの推進

家庭は、基本的な生活習慣や、善悪の判断・規範意識等の倫理観、思いやり、社会的ルールなどを学ぶうえで、重要な役割を担っており、家庭における教育は、健全な子どもの育成に欠かすことはできない。

このため、親子のふれあいが高まるきっかけづくりとなるような取組みを通じて、親子間で良好なコミュニケーションが持てる家庭環境づくりを推進する。

(1) 子どもまつり

市内7会場で、区ごとに子ども会、青少年育成団体や自治会などを構成員とした実行委員会を設け、関係団体の協力のもと、親子のふれあいを高める催しや子どもたちが楽しく過ごせるイベントを実施する。

5 青少年施設

北九州市には7か所の青少年の家及び6か所の青少年キャンプ場があり、それぞれが特色を活かした体験活動等を実施している。

平成17年度から「もじ少年自然の家」に、平成19年度から「玄海青年の家」、平成24年度から「かぐめよし少年自然の家」平成28年度から「ユースステーション」に指定管理者制度を導入し、民間事業者らの独自の創意工夫と効果的、効率的な運営により市民サービスの向上を図っている。

(1) 足立青少年の家



① 目的

都市近郊の自然を活かし、健全な青少年育成を目的とする。

② 施設概要

青少年、団体の指導者及び社会教育関係団体などが利用できる。グループ利用が原則であるが、家族利用でも可能。

自然を利用したキャンプやオリエンテーリング、レクリエーションの場として活用できる。

利用状況（令和5年度）

施設名	団体数	利用者数	日帰り	宿泊
足立青少年の家	104	1,440	678	762

(2) 少年自然の家



① 目的

子どもたちが、大自然の中の集団生活・野外活動などの体験を通して、規律、協同、友愛、奉仕の尊さを学び、心身共にたくましい少年を育てることを目的とする。

② 施設概要

もじ・かぐめよしの2つの少年自然の家があり、それぞれ、特色のある恵まれた自然環境の中に設置されている。

平成17年度からもじ少年自然の家、平成24年度からかぐめよし少年自然の家に指定管理者制度を導入した。

③ 受入れ事業

ア ふれあい合宿

……市内中学校の1年生を対象。

イ 宿泊合宿

……市内特別支援学校の小・中・高等部の児童生徒を対象。

ウ 自然教室

……市内小学校の児童を対象。

エ 子ども会などの少年団体の実践活動

④ 各施設共通事業

ア 自然に親しむ親と子のつどい

各施設の特色を活かし、自然に親しみながら親子のふれあいと各季節ごとに異なるアウトドア活動の楽しさを体感してもらうことを目的とした事業。

イ ボランティア研修会

⑤ その他主催事業（令和5年度）

[もじ少年自然の家]

ア もじアドベンチャークラブ（MAC）	（年5回）
イ 親子で学ぶSDGs	（年1回）
ウ ネイチャープレイパーク	（年1回）
エ もじフィッシングクラブ（MFC）	（年4回）
オ ボランティア養成事業	（年4回）



もじアドベンチャークラブ（もじ少年自然の家）

[かぐめよし少年自然の家]

- ア かぐめよし自然少年団 (年6回)
- イ かぐめふるさと交流 (年1回)
- ウ クリスマスリース作り (年1回)
- エ はじめての陶芸教室 (年2回)
- オ 親子でかぐめよしダムカヌー (年1回)



かぐめよし自然少年団 (かぐめよし少年自然の家)

(3) 玄海青年の家



① 目的

主に青少年団体を対象とする宿泊研修施設。寝食を共にする活動を通して、規律・協調・友愛・奉仕の精神と創造性を養い、次代を担う健全な青少年の育成を目指す。

② 施設概要

グリーンパークに隣接し、頓田貯水池湖畔に立地。キャンプ場(定員80人)を併設。講義、討議、スポーツ、ウォークライミング、レクリエーション等のほか、自然を生かしたオリエンテーリング、ウォークラリー、野外炊飯、カヌー、プロジェクトアドベンチャーなどの野外活動ができる。

平成19年4月から、指定管理者制度を導入した。

③ 主催事業

- ア 青年・一般対象事業
『玄海青年ドリカム村』、『バイトでゴー』
- イ ファミリー対象事業
野外生活を通して家族のふれあいを深める『親子でチャレンジ!自然発見塾』など。
- ウ 幼児対象事業
体験を通して、自然を大切にする心を育む『とんちよのりのりようちえん』。
- エ ボランティア養成事業
ゲームや野外活動を通して、自己実現、レク指導技術の向上を目指し、またボランティア相互の交流を図る『ボランティア研修会』など。



利用状況（令和5年度）

区 分	玄海青年の家				もじ少年自然の家				かぐめよし少年自然の家			
	団体数	利用者数	日帰り	宿泊	団体数	利用者数	日帰り	宿泊	団体数	利用者数	日帰り	宿泊
所の主催事業	37	857	623	234	115	5,276	5,030	246	29	503	169	334
自 然 教 室	139	5,334	950	4,384	78	2,918	581	2,337	30	1,011	165	846
ふれあい合宿	35	2,868	280	2,588	24	1,065	226	839	18	646	64	582
宿 泊 学 習	5	78	22	56	15	200	107	93	5	111	37	74
学校自主利用	42	1,632	720	912	28	1,173	386	787	40	496	151	345
子 ども 会	16	377	143	234	1	23	4	19	2	39	5	34
そ の 他	351	9,253	5,841	3,412	148	7,186	5,474	1,712	192	4,099	3,279	820
合 計	606	19,966	8,146	11,820	409	17,841	11,808	6,033	316	6,905	3,870	3,035

(4) 夜宮青少年センター



① 目 的

青少年に交流と研さんの場を提供し、幅広い人間形成、学習活動の促進を図ることを目的とした、“非宿泊型”の都市型青少年施設。

② 施設概要

施設の壁面に描かれているシンボルマークは「友愛と創造」を表している。青少年グループ・サークルが自分たちのプログラムによって自主的な活動をするとともに、集会や学習、討議、スポーツ、レクリエーションなどを行っている。青少年達の友情の輪を広げ、豊かな創造性を身に付けてもらうため、施設や機材を提供するとともに指導・助言も行っている。

③ 主な事業

ア 家族向け事業

春・夏の陶芸教室、水彩画教室、凧作り教室、竹細工教室、木工細工教室、クラフト教室、オータムキャンプを実施。

イ 子ども向け事業

デイクャンプインよみや、サンタが夜宮に降りてくるを実施。



デイクャンプインよみや（夜宮青少年センター）

ウ 市民向け事業

初めての陶芸教室を実施。

エ 中高生向け事業

夜宮中高生クラブ（毎週火・木・金 16時～19時）を実施。

オ スポーツ事業

バドミントン大会、卓球大会を開催しサークル及び参加者相互の交流を図る。

カ 共催事業

戸畑区子どもまつり、戸畑菖蒲まつりを共催で実施。

利用状況（令和5年度来館者数 対象別）

項目	人数 (人)	割合 (%)
勤労青少年	4,461	22.9
小中学生	1,694	8.7
高校・大学生	1,737	8.9
指導者	1,371	7.0
小学生未満	385	2.0
その他	9,844	50.5
合計	19,492	100.0



初めての陶芸教室（夜宮青少年センター）

(5) 畑キャンプセンター



① 目的

都市近郊の自然を活かし、健全な青少年育成を目的とする。

② 施設概要

キャンプサイトやバンガロー、センター棟などがあり、自然を利用した青少年グループのキャンプや、家族のレクリエーション、職場グループの研修の場として活用できる。

(6) ユースステーション



① 目的

中・高校生をはじめとする若者が、学習や体験、スポーツ・文化活動、仲間との交流などを通じて、自己を発見し、社会性や自立性を身に付ける場。

ア 気軽に立ち寄り、楽しみながら交流できる場の提供【交流】

イ さまざまな遊びや体験活動の場の提供【遊び・体験】

ウ 自ら成長していくための学びの場の提供【学び】

エ 若者に係る情報の発信【情報発信】

② 施設概要

平成25年4月に黒崎のコムシティ地下1階に開館。

若者が放課後や休日に気軽に立ち寄って集えるようフリースペース、学習スペースを設置しているほか、若者の多様なニーズに応えられるようスタジオ、多目的ホール、キッチン・ダイニング、工芸室、セミナールームを備えている。

また、主催事業や利用者である若者による自主企画事業も実施する。平成28年度から指定管理者制度を導入した。

利用状況（令和5年度 来館者数・対象者別）

項目	人数 (人)	割合 (%)
小学生	571	1.3
中学生	4,389	10.2
高校生	31,569	73.1
大学・専門	2,878	6.7
一般	3,781	8.7
合計	43,188	100.0

(7) 青少年キャンプ場

① 目的

次代を担う青少年が野外活動を通じて心身共にたくましく鍛え、さらに健やかな精神を養い、明るく創造力豊かな人間性の育成を目指す。

利用状況（令和5年度）

施設名	団体数	利用者数	日帰り	宿泊
矢筈山キャンプ場 (門司区)	106	2,074	1,602	551
足立キャンプ場 (小倉北区)	239	1,997	1,650	347
堀越キャンプ場 (小倉南区)	417	4,227	3,051	1,884
しょうぶ谷キャンプ場 (若松区)	562	1,606	1,142	1,615
帆柱キャンプ場 (八幡東区) ※	0	0	0	0
金比羅キャンプ場 (戸畑区)	603	5,203	3,930	2,349

※ 令和3年8月の災害により登山道が通行止めとなっているため、「帆柱キャンプ場」は休場。

IV 青少年対策

本市における刑法犯少年の検挙補導人員は、ピークであった平成15年の2,734人から令和5年は355人、少年人口1,000人当たりの非行者率は4.6人、再犯者率は33.3%と増加しており、青少年の非行防止対策は重要な課題である。こうした状況に対処するため、平成24年7月に立ち上げた、地域団体、関係機関で構成する「青少年の非行を生まない地域づくり推進本部」において、非行防止に向けた総合的かつ効果的な各種対策を検討、実施していく。

1 「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業

『青少年の非行を生まない地域』の実現を図るため、青少年の健全育成、非行防止に関わる地域団体、関係機関で構成する「推進本部」において、全市的・全庁的な立場から、より実効性のある各種非行対策を検討し、総合的かつ効果的に実施する。

2 非行防止対策

(1) 子ども・親に対する「非行防止」などに係る啓発

少年非行を未然に防止するため、市内の全小・中学校に対し、チラシやリーフレットを配布し、啓発を実施する。

(2) メディア・リテラシーの向上

メディア・リテラシー向上推進会議において、スマートフォン等の適切な利用について、実効性の高い取り組み等の協議・検討を実施していく。

(3) 地域における青少年の見守り活動

非行の入口となりやすい夏休みを中心に、非行防止活動に重点的に取り組む。

① 全市一斉夜間非行防止パトロール

北九州市少年補導委員や教職員、青少年関係地域団体など、地域住民による全市一斉の非行防止パトロールを実施する。

・令和6年7月19日、8月23日、9月6日

② 青少年声かけ深夜パトロール

次代を担う青少年の健全育成及び安全・安心なまちづくりを進めるため、小中学校が長期休暇期間の22時から翌朝4時まで、深夜営業の店舗周辺など、青少年がはいかいしやすい場所のパトロールを民間委託により行い、青少年の深夜はいかいを抑止する。

③ 子どもの安全を守る「はいかい防止声かけネットワーク」

深夜はいかいは、不良交友や喫煙等を通じて非行を誘発するだけでなく、凶悪犯罪の被害者にもなりかねない、極めて危険な行為である。

そこで、子どもの安全を守るため、“24時間、市内どこでも、青少年を見守り、声かけを実践する北九州モデル”として、深夜に営業している、コンビニ店、カラオケ店、ゲームセンター、タクシー等の企業、そして青少年に関わる市民団体と連携した「はいかい防止声かけネットワーク」により、子どもの深夜はいかい防止と安全を守る活動を実施している。

(4) 地域活動に対する支援

① 北九州市少年補導委員活動

青少年育成関係団体等で活動する人の中から、中学校区ごとに原則3人以内の少年補導委員を委嘱し、子ども総合センター、各区コミュニティ支援課と連携のもと、街頭補導や環境浄化活動などを行い、少年非行の防止に努めている。

② 北九州地区（市）少年補導員連絡協議会

各警察署から委嘱された少年補導員で構成する北九州地区（市）少年補導員連絡協議会において、街頭補導や有害環境浄化活動、少年健全育成大会などを実施している。

③ 校区青少年育成会

青少年の健全育成や非行防止活動の趣旨に賛同した住民、育成団体らで構成する校区青少年育成会において、各種スポーツ大会や有害環境浄化活動などを実施している。

④ 地域会議などの推進事業

主に各中学校区を単位とし、中学校長、PTAや自治会の代表者、少年補導委員らで構成する地域会議において、街頭補導やスポーツ交流活動など、地域が一体となった青少年の健全育成・非行防止活動に取り組んでいる。現在、約50の地域会議が設置されており、市は運営の助成などを行い、活動の充実を図っている。

3 立ち直り支援対策

(1) 深夜はいかいなどを行う青少年の居場所づくり

深夜はいかいなどを行う青少年に声かけを行うとともに、相談機能や深夜のさまざまな危険から身を守る一時避難場所としての機能をあわせ持つ北九州市青少年支援拠点「ドロップイン・センター」を小倉都心部で運営する。

(2) 就労支援事業の実施

非行歴等のある少年に対し、就労意欲を持たせ、その立ち直りを支援するため、北九州市青少年の非行を生まない地域づくり推進本部・立ち直り支援対策部会部会員と協働して、就労支援事業を実施する。

(3) 北九州市協力雇用主見舞金制度などの運用

非行歴等のある少年を雇用し、その立ち直りを支援する協力雇用主の拡大を図るとともに、少年の就労環境を改善するため、協力雇用主が雇用した少年から業務上の損害を被った場合に、100万円を上限に損害に応じた見舞金を支給する制度や、立ち直りへの意欲が高いが、定住場所がない非行少年を雇用する場合、入居する住宅の初期費用の一部（最大18万4千円）を補助するなど、支援を行う。

また、協力雇用主に対する表彰制度を実施する。

4 薬物乱用防止対策

(1) 薬物乱用防止啓発

薬物乱用防止啓発チラシを作成し、小学4年生から中学生等の児童・生徒および保護者を対象に配布し、薬物乱用防止を啓発する。

北九州市における薬物等乱用少年の学職別検挙補導状況（遠賀郡及び中間市の数を含む）

年	シンナー			覚せい剤			大麻		
	計	児童・生徒	一般少年	計	児童・生徒	一般少年	計	児童・生徒	一般少年
3	0	0	0	0	0	0	17	3	14
4	0	0	0	0	0	0	19	1	18
5	0	0	0	2	1	1	24	0	24

（福岡県警察本部少年課の「非行概況」より）

5 関係機関との連携強化

青少年問題に対する啓発活動や研究集会を行い、青少年の健全育成とそれに対する市民意識の高揚を図る。

(1) 青少年の健全育成推進団体などとの連携

① 青少年育成大会

青少年の指導者や市民が一堂に会し、健全育成や非行防止について研究討議を行う。

② 研究集会の開催

各区でさまざまなテーマを設定し、青少年育成会や少年補導委員などの青少年指導者をはじめ、区民を対象にした研修を行う。

③ 青少年健全育成キャンペーン

各区単位でパレードや街頭啓発を行い、市民意識の高揚を図る。

このページは白紙です